

# RS\_CommPro 取扱説明書

第1版 平成24年11月12日発行

第9版 平成29年7月25日改訂

株式会社 Medical-In

〒732-0066

広島市東区牛田本町2丁目10-20

## 目次

はじめに.....	1
プログラム動作環境.....	2
インストール.....	4
初回起動と初期設定.....	5
1. 初回起動.....	5
2. 初期設定(機器設定).....	6
3. 初期設定(基準値設定).....	20
4. 初期設定(全般的な設定).....	23
5. 初期設定(検査値変換).....	33
6. 初期設定(出力設定).....	35
7. 初期設定(名称設定).....	36
ご利用方法.....	37
1. 初期画面.....	37
2. 画面操作(修正機能).....	39
3. 画面操作(RS_Base 表示機能).....	40
4. 画面操作(送信機能).....	41
5. 画面操作(削除機能).....	42
6. 画面操作(印刷機能).....	43
7. 画面操作(検索機能).....	44
8. 画面操作(検査集計機能).....	45
9. 画面操作(RS_CommPro での患者 ID を入力後測定する).....	46
10. 画面操作(通信状況).....	47
11. 画面操作(検査者指定).....	48
12. 画面操作(バーコード機能).....	49
13. 画面操作(その他).....	51
14. 詳細画面(個別データ).....	59
15. 詳細画面(時系列表示).....	60
16. 詳細画面(同一日の検査表示).....	61
17. 対応機器一覧.....	63
18. 患者一覧.....	64
17. バージョン情報.....	65
19. 患者情報の取得.....	66



# はじめに

RS\_CommPro は医療機関様の院内検査機器から RS-232C で出力される検査データを受信し、RS\_Base に自動ファイリングを行うプログラムです。

このプログラムは RS\_Base との連携用のプログラムとなっており、RS\_Base 付随のプログラムで、RS\_Base ユーザ様 (RS\_Base M L 参加ユーザ) の使用はフリーですが、他への再配布はご遠慮下さい。

今まで RS\_Comm にてプログラムの提供を行っていましたが、RS\_Comm では、

- ・ RS\_Comm 自体にデータの保存機能が出来ない。
- ・ 1 機種 1 つの RS\_Comm が必要となり、複数の機器と接続する場合複数の RS\_Comm を起動させる必要がある
- ・ 設定画面もデータの通信、ファイリングも 1 つの画面で行っており、誤操作等によりトラブルがあるなどの欠点がありました。その辺りの改善を行ったのが RS\_CommPro です。

RS\_CommPro では

- ・ 10 機種までは 1 つのプログラムで管理可能
- ・ RS\_CommPro 自体にもデータ保存機能を追加し ID 等の変更、再送信が可能
- ・ 別途ライセンスは必要となりますが、他の電子カルテやファイリングシステムにデータ出力可能

(※)RS\_Base をご利用のユーザ様で RS\_Base にファイリングする際にはライセンスはフリーです。

(※)RS\_Base 以外の電子カルテファイリングシステムにファイリングしたい場合には別途ご相談下さい。

などを対応したプログラムとなっております。

次ページからのインストール手順に従いインストール設定のうえご利用下さい。

# プログラム動作環境

## インストール

今回のプログラムからインストールを行います。ダウンロード後、フォルダ内の INSTALL.exe を起動してインストールして下さい。

## 新たな検査機器対応

新たな検査機器や不具合等の RS\_CommPro のバージョン UP は RS\_Base のメーリングリストにてアナウンスさせていただきます。

## 動作確認・OS

Windows10、Windows 8、Windows 7、WindowsXP、WindowsVISTA にて動作確認は行っています。ノートパソコン等のワイド画面でも動作しますが XGA(解像度 1024×768)以下ですと画面下部が切れる場合があります。

## 必要ソフト

RS\_CommPro は、RS\_Base との連携ソフトとなりますので RS\_CommPro をご利用される場合、RS\_Base の基本情報(init.dat)や患者データ(name.csv)を参照し、編集後は RS\_Base への自動登録を行いますので、RS\_Base がインストールされていることが条件となります。また、Apache もインストールされ起動していないと RS\_Base への取込は出来ません。

RS\_Base のバージョンは、Ver70904 以降にバージョン UP して下さい。

マニュアルを PDF で作成しておりますので、AcrobatReader が必要となります。

## RS\_CommPro の構造

インストールを初期値のまま行くと C:¥Program Files¥RS\_CommPro 内にプログラム等必要データをインストール、C:¥Windows¥system32 内に MSCOMCT.OCX、MSCOMCTL2.OCX、COMDLG32.OCX、MSFLXGLD.OCX、MSWINSCK.OCX、PSYBCLBL.OCX、MSBCODE9.OCX をインストールします。C:¥Windows¥system32 内の MSCOMCT.OCX、MSCOMCTL2.OCX、COMDLG32.OCX、MSFLXGLD.OCX、MSWINSCK.OCX、PSYBCLBL.OCX、MSBCODE9.OCX がある場合にはそれぞれのファイル名に日付\_時間.OCX.OLD という名前に変更しアンインストール時に元に戻します。

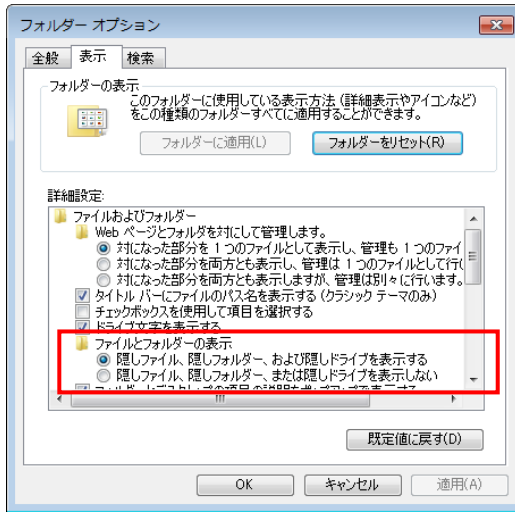
## プログラム起動時のパソコンのユーザ領域

WindowsXP の場合には C:¥Documents and Settings¥[ログインユーザ]¥Application Data¥RS\_CommPro  
WindowsVISTA、7、8、10 の場合には C:¥ユーザ¥[ログインユーザ]¥AppData¥Roaming¥RS\_CommPro に必要データを作成します。

(※)管理者権限では C:¥Program Files 内にはデータを書き込めませんので、上記としております。

(※)RS\_CommPro のバックアップを取る場合には上記フォルダをバックアップして下さい。

(※)上記ユーザ領域がコンピュータ(マイコンピュータ)から表示出来ない場合には、コントロールパネルのフォルダオプション、表示タグのファイルとフォルダの表示を「隠しファイル、隠しフォルダ、および隠しドライブを表示する」にチェックを入れて下さい。



# インストール

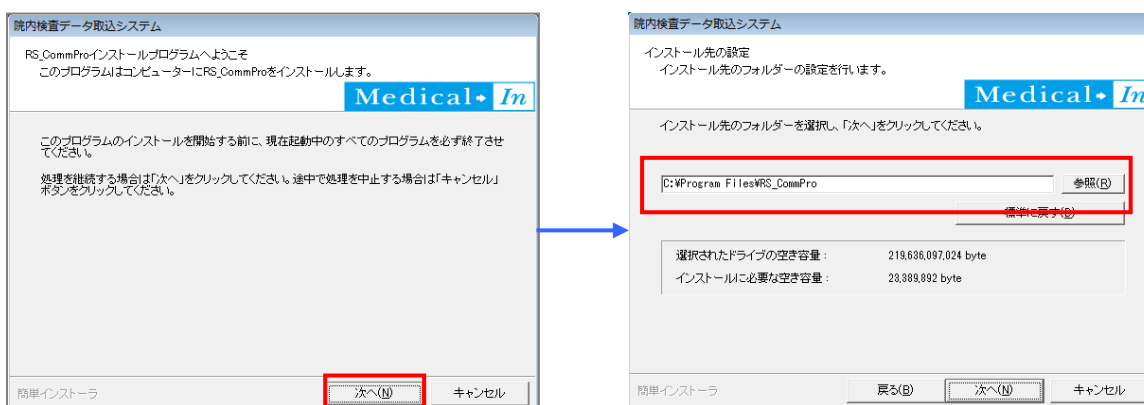
1. Install フォルダ内の INSTALL.EXE をダブルクリックしてインストールを開始して下さい。

Files	2012/11/05 9:23	ファイル フォル...	
AUTORUN.INF	2012/10/09 18:39	セットアップ情報	1 KB
INSTALL.DAT	2012/10/09 18:34	DAT ファイル	18 KB
<b>INSTALL.EXE</b>	2010/06/19 20:56	アプリケーション	602 KB
min0.bmp	2011/06/18 16:39	ビットマップ イ...	20 KB
RS_CommPro.ico	1998/07/19 4:39	アイコン	3 KB

2. 画面の指示に従いインストールを行って下さい。

(※) WindowsVISTA 以降の場合ユーザアカウント制御にてメッセージが出る場合があります。そのまま許可をクリックしてインストールを継続して下さい。

(※) 管理者権限でインストールして下さい。



(※) インストール先のフォルダー選択画面では初期値 C:\Program Files\RS\_CommPro が指定されています。変更も可能ですが、メンテナンス、サポートの事もありますので、出来るだけ初期値のままインストールを継続して下さい。

3. インストールが完了するとデスクトップにショートカットが作成されます。アイコンをダブルクリックすることでプログラムが起動します。



4. アンインストールはコントロールパネルからアンインストールを行って下さい。

(※) アンインストールはプログラムは削除されますが、データは削除されません。

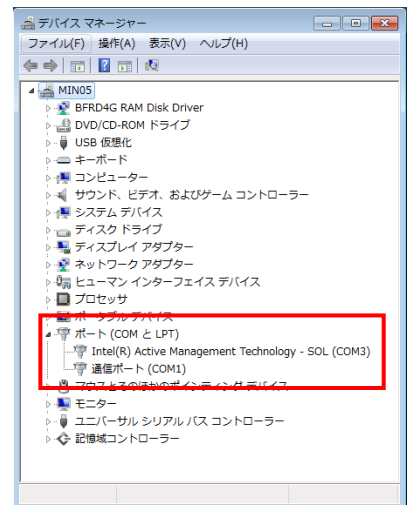
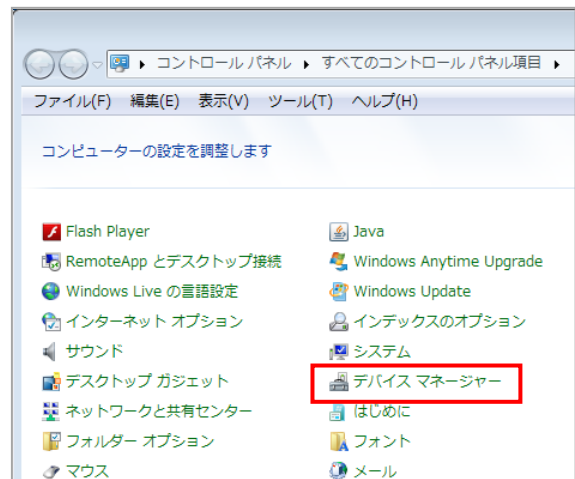
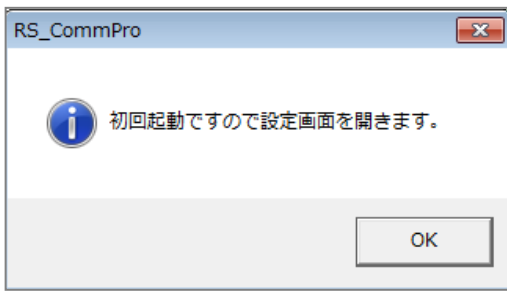
# 初回起動と初期設定

## 1. 初回起動

1. インストールを行うとデスクトップに RS\_CommPro のショートカットが作成されます。RS\_CommPro のショートカットを起動するとプログラムが起動します。



2. 初期起動時に、下記メッセージが表示され OK クリックにて検査機器の設定画面が表示されます。  
(※) 検査機器とパソコンの接続は事前に行い、COMポート等は控えておいて下さい。



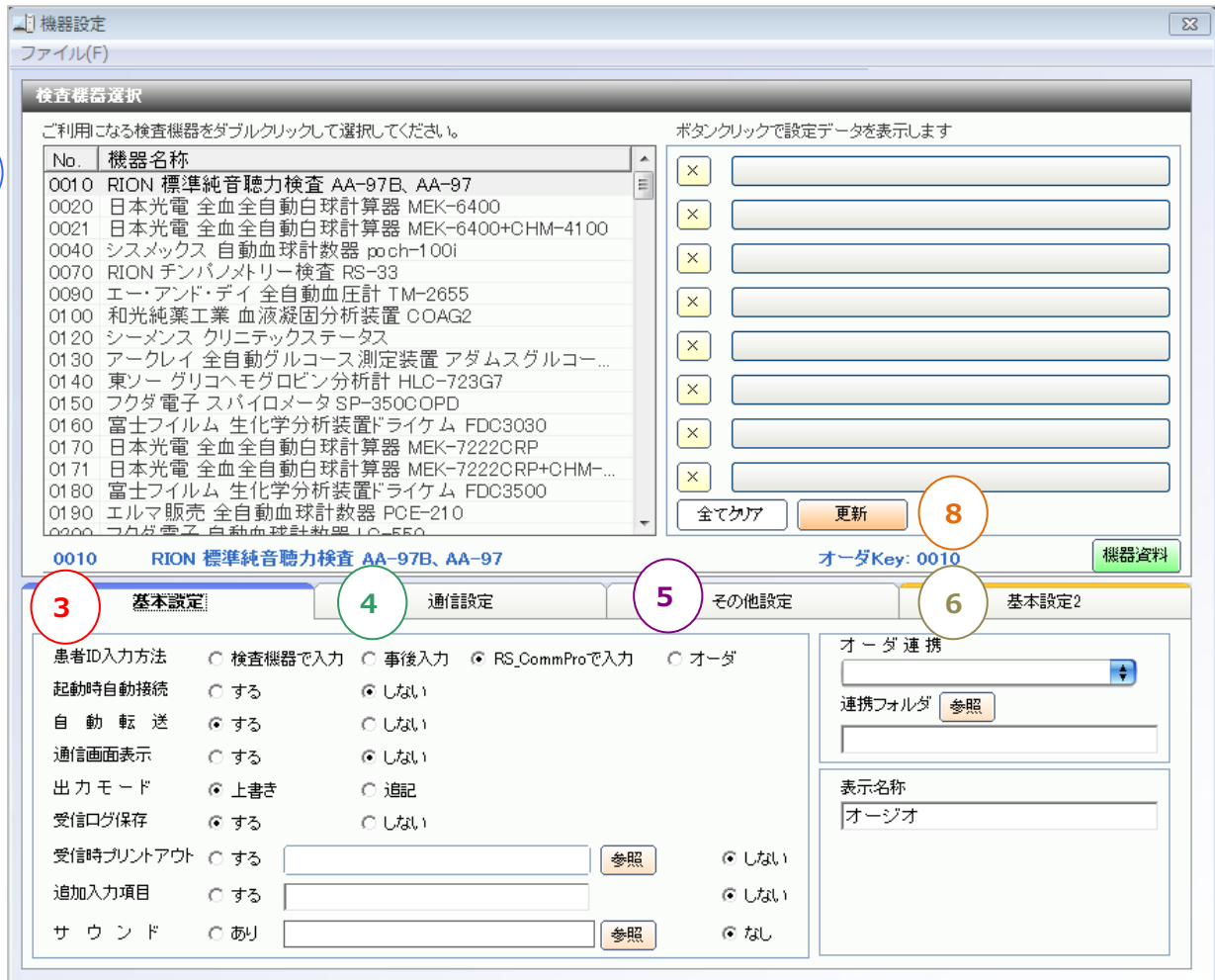
確認はコントロールパネル→デバイスマネージャー→ポート(COMとLPT)にて行えます。



## 2. 初期設定(機器設定)

1. メイン画面の設定(I)→機器設定(K)にて表示されます。

設定画面からご利用の機器を選択して設定をして下さい。



① 現在対応している検査機器が表示されていますので、ご利用の機器の行をダブルクリックします。

② ダブルクリックすると選択された検査名が表示され、同時に画面下部(③エリア)に初期設定情報が表示されます。選択機器をクリックする事で画面下部(③、④、⑤エリア)の表示がそれぞれ変更になります。

- ・ 機種選択を間違えた場合には②の左の×ボタンにて解除されます。
- ・ 全て解除する場合には②の「全てクリア」をクリックして下さい。

③ 基本設定項目を確認し、設定を行って下さい。

1) 患者 ID 入力方法

患者 ID の入力方法を選択します。

■ 検査機器

検査機器で ID を入力する場合に選択します。

■ 事後

RS\_CommPro でデータを確認後、RS\_Base にファイリングする場合に選択します。

■ RS\_CommPro

RS\_CommPro で入力する場合に選択します。RS\_CommPro で入力を選択した場合は、データの連続受信は出来ません。

■ オーダー

ID 入力がない機器で、診察室から ID を入力したい場合に使用する機能です。RS\_Base とのオーダー連携を行うと、プログラムを起動したと同時に接続し、オーダー待ちの状態となります。その後、オーダーが出された時に患者 ID、患者名が表示されて、RS-232C からのデータ受信待ちの状態になります。

**【例】フクダ電子 自動血球計数器 FL-178CRP 機器 NO.0210**

オーダーの設定は、オーダー機能を使用するパソコンで設定をして下さい。

(RS\_CommPro 側の設定)

起動時自動接続は「しない」に設定をして下さい。

オーダー連携： RS\_Base を選択

連携フォルダ： C:¥RS\_ORDER (例)

※検査機器とシリアルケーブルで接続している PC の C ドライブに出力先フォルダ (例：RS\_ORDER) を作成し、連携フォルダに指定して下さい。

(RS\_Base 側の設定)

オーダー 1 を使用する場合を例として説明しています。CR のオーダー等を既に使用している場合は、オーダー 2、オーダー 3 をご利用下さい。

1. オーダー機能を使用するパソコンで設定して下さい。

RS\_Base でのオーダー設定には以下 2 種類の方法があります。

[方法 1]

基本情報(220)の設定を行います。

オーダー 1 出力先ホルダ： C:¥RS\_ORDER

オーダー 1 初期検査名： 血球 FL-178CRP (例)

※オーダーで初期設定を設定します。ここで設定しておく、RS\_Base のオーダー画面を開いた際に設定された検査名がデフォルト表示されます。

CR 選択： Regius (固定)

※現在は、Regius のみの使用となります。

(220) オーダー1出力先ホルダ	C:¥RS_ORDER	オーダー1初期検査名	血球FL-178CRP	CR選択	Regius
(221) オーダーボタンの開じる・閉じない、配置を変える(↑)		オーダーをBOXに反映させる	yes		
(222) オーダー2出力先ホルダ		オーダー2初期検査名		オーダー2・3カタカナ	半角
(223) オーダー3出力先ホルダ		オーダー3初期検査名			

[方法 2]

基本情報(227)の設定を行います。

指定 1： 血球 FL-178CRP/C:¥RS\_ORDER

検査別オーダーファイル出力先(例1: 胃内視鏡/¥¥KENSA¥ORDER)	
(227) 指定1	血球FL-178CRP/C:¥RS_ORDER
(228) 指定2	
(229) 指定3	
(230) 指定4	
(231) 指定5	

/の前までの指定はオーダーで使用する名称です。

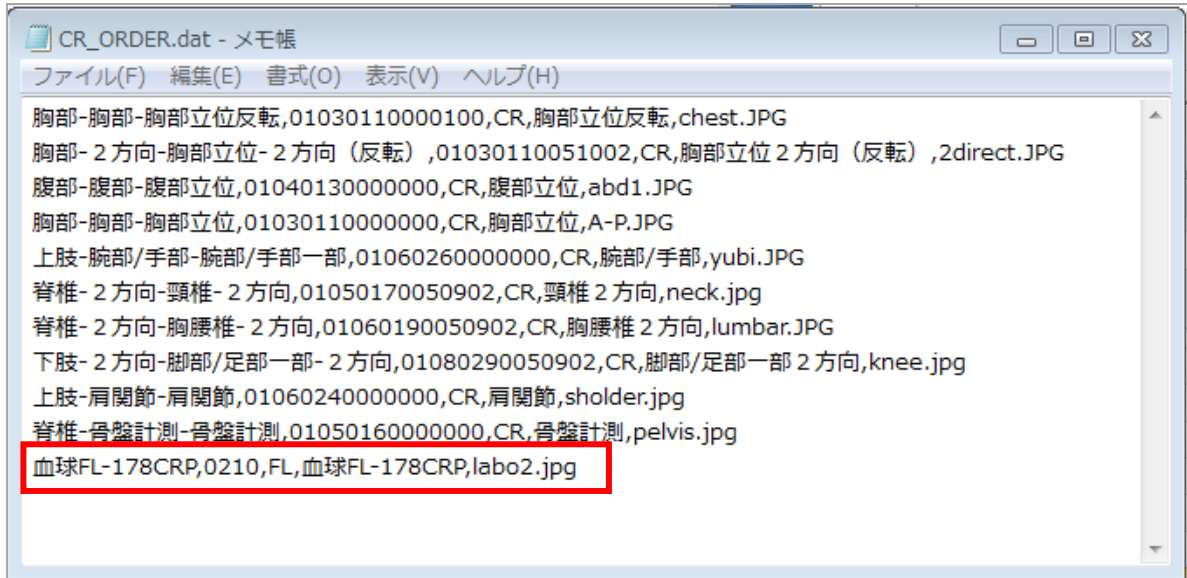
/の後は、検査機器とシリアルケーブルで接続している PC のフォルダを指定します。この設定を行うと CR の選択が Regius、FCR\_Start、FCR\_Reserve に関係なくテキストファイルを出力します。

2. RS\_Base のオーダーの設定を行います。

【頻検】 ファイル名 : CR\_ORDER.dat

頻検をクリックするとデータ表示されますので、以下 1 行をデータに追加して保存します。

(例) 血球 FL-178CRP,LC-178,FL,血球 FL-178CRP,labo2.jpg



血球 FL-178CRP : オータ画面で表示される検査名です。上記①

0210 : オータ連携で使用する Key です。RS\_CommPro の機器設定のオータ Key を指定します。

FL : 未使用です。

血球 FL-178CRP : 未使用です。

labo2.jpg : オータ画面で表示する画像のファイル名です。上記②

【常検】 ファイル名 : CR\_ORDER2.dat

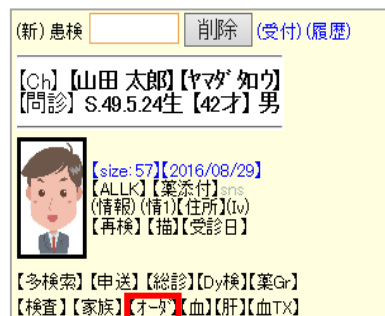
上記【頻検】と同様に追加をして保存して下さい。

【全検】 ファイル名 : CS\_2Order.txt

上記【頻検】と同様に追加をして保存して下さい。

以上で設定は完了です。

3. RS\_Base でオータしたい患者の【オータ】をクリックし、オータ画面を表示します。



継続してオータする場合は、「オータ後：継続」を 1 回のみのおータの場合は、「オータ後：閉じる」ボタンクリックでオータ情報が、連携フォルダに送られます。その情報を RS\_CommPro が取得し、「検査待」となります。

## ■ラック

複数の検体を連続測定する際に選択します。

設定可能な検査機器： (1690)東ソー グリコヘモグロビン分析計(HLC-723G11)

(※)いずれの場合も ID=0、ID が数字でない場合には RS\_Base にファイリングは行いません。

## 2) 起動時自動接続

RS\_CommPro を起動した際に検査機器と接続するかどうかの選択です。

### ■する

患者 ID 入力を検査機器で行う場合には「する」に設定して下さい。RS\_CommPro を起動した際に自動接続されます。

### ■しない

RS\_CommPro を起動して後述する検査機器のボタンをクリックすることで機器と接続となります。

(※)患者 ID の入力を RS\_CommPro で行うに選択した場合には自動接続されません。

## 3) 自動転送

検査機器からデータを受信し RS\_CommPro にデータを登録後、RS\_Base に自動ファイリングを行うかどうかの設定です。

### ■する

RS\_CommPro にデータを登録後、RS\_Base に自動ファイリングを行う場合に設定して下さい。

### ■しない

RS\_CommPro にデータを登録後、ID 間違い等を受信後チェックして RS\_Base に送信したい場合などに設定して下さい。

## 4) 通信画面表示

RS\_CommPro の通信画面を表示するかどうかの設定です。通常は表示しないに設定することをお勧めします。

### ■する

通信画面を表示したい場合に設定します。機器からデータを受信した際に画面下部にメッセージが表示されます。

### ■しない

通常は表示しないに設定し、新たな機器を接続しテストを行う場合の確認にご利用下さい。

## 5) 出力モード

RS\_Base に血液データを上書きにするか追記にするかの設定です。

### ■上書き

同日、同一機器にて 2 回以上の検査を行った場合でも上書きとなります。

### ■追記

日付に e から順にアルファベットを付与して RS\_Base にファイリングします。RS\_Base では日付が

2014/06/06、2014/06/06e の様な表記となります。追記の場合 1 回目の検査データがおかしいため再測定した場合でも追加されますので、その際には RS\_Base 側で検査データを削除して下さい。

(※) 通常は上書きで、該当データのみ追記にしたい場合には、ご利用方法 13.画面操作(その他)の 2.同日複数検査を送信したい場合を参考にして下さい。

#### 6) 受信ログ保存

受信したデータを保存するかどうかの設定です。通常は「する」に設定して下さい。

#### 7) 受信時プリントアウト

データを受信し RS\_CommPro に登録した際に印刷するかどうかを選択します。

#### 8) 追加入力項目

検査機器からのデータ以外に項目を追加手入力する場合に指定します。追加入力項目がある場合には「する」にチェックを入れ、項目名称を入力して下さい。

※ 2 項目の追加は、基本設定 2 で指定することができます。

#### 9) サウンド

ファイリング完了時にサウンドを鳴らすかどうかの設定です。サウンドを鳴らす場合には「あり」にチェックを入れサウンドファイルを選択して下さい。

#### 10) 表示名称

下記の検査機器を設定する場合は、追加で表示名称が表示されます。

設定可能な検査機器： (0020) 日本光電全血全自動血球計数機 MEK-6400、MEK-6420  
(0021) 日本光電全血全自動血球計数機 MEK-6400・MEK-6420+CHM-4100  
(0170) 日本光電全血全自動血球計数器 MEK-7222CRP  
(0171) 日本光電全血全自動血球計数器 MEK-7222CRP+CHM-4100  
(0280) 日本光電全血全自動血球計数機 MEK-6318、MEK-6308  
(0281) 日本光電全血全自動血球計数機 MEK-6318・MEK-6308+CHM-4100  
(0490) 日本光電全血全自動血球計数機 MEK-6308CRP  
(0491) 日本光電全血全自動血球計数機 MEK-6308+CHM-4100  
(1170) 日本光電全血全自動血球計数機 MEK-6420  
(1171) 日本光電全血全自動血球計数機 MEK-6420+CHM-4100  
(1230) 日本光電全血全自動血球計数機 MEK-6450 (動物向)  
(1231) 日本光電全血全自動血球計数機 MEK-6450 (動物向) +CHM-4100  
(1290) 日本光電全血全自動血球計数機 MEK-7300  
(1291) 日本光電全血全自動血球計数機 MEK-7300+CHM-4100

(1292) 日本光電全血全自動血球計数機 MEK-7300+CHM-4100(パターン 2)

(1320) 日本光電全血全自動血球計数機 MEK-6500、MEK-6510

(1321) 日本光電全血全自動血球計数機 MEK-6500、MEK-6510+CHM-4100

表示名称
血算
表示名称(GRP)
CRP

設定可能な検査機器: (0070) RION インピーダンスオージオメータ RS-33

(1670) RION チンパノメトリー検査 RS-M1

表示名称
ティンパノ
表示名称(レフレックス)

設定可能な検査機器: (0260)チェストスパイロメータ HI-801

表示名称
肺機能
鼻腔名称

④ 通信設定を確認し、設定を行って下さい。

0020 日本光電 全血全自動血球計数器 MEK-6400 オーダKey: 0020 機器資料

基本設定 通信設定 その他設定 基本設定2

【RS-232C】

ポート COM1

通信速度 9600 bps

データビット 8 bit

ストップビット 1 bit

パリティ 偶数

フロー制御 なし

タイムアウト 100 ms

【ファイル出力】

機器からの出力フォルダ 参照

チェック間隔 秒

【TCP/IP ソケット】

TCP/IPソケットを使用する

IPアドレス(Local) ポート

IPアドレス(Remote) ポート

使用形態  サーバ(TCP)  クライアント(TCP)

## 【RS-232C】

ポートからタイムアウトまでを選択します。ポート以外は検査機器の初期値にあわせていますので変更の必要はありませんが、検査機器の通信条件と違う場合には確認後、変更をして下さい。

※COMポートの初期値は全て COM1 になっておりますので、機器と接続した COM ポートをそれぞれ指定して下さい。

## 【TCP/IP ソケット】

TCP/IP ソケットを使用する場合に利用します。

### ■IP アドレス (Local)

RS\_CommPro が動作しているパソコンの IP アドレスを登録して下さい。

### ■ポート (Local)

RS\_CommPro が動作しているパソコンの指定ポートを登録して下さい。

### ■IP アドレス (Remote)

機器側の IP アドレスを登録して下さい。

### ■ポート (Remote)

機器側の指定ポートを登録して下さい。

### ■使用形態

サーバ (TCP) かクライアント (TCP) かどちらかを選択して下さい。

(※) 通常は、サーバ (TCP) を選択します。

設定可能な検査機器： (2100)アリーアメディカル Afinion アナライザー AS100

## 【ファイル出力】

COM(RS-232C)を利用しない場合に利用します。検査機器または管理システム等から出力されるフォルダを指定、チェック間隔には指定フォルダに出力されるデータをチェックする秒数を指定します。

(※)2016年5月現在、設定が必要な機器は下記となります。

(1020) 古野電気 超音波骨密度測定装置 CM-200

(1030) 三和化学研究所 Banalyst Ace

(1040) ニデック眼圧計 NT-530

(1045) ニデック眼圧計 NT-530【眼科用】

(1340) ToTo データ管理ソフト 尿流量管理くん

(1410) IDEXX ペットラボステーション

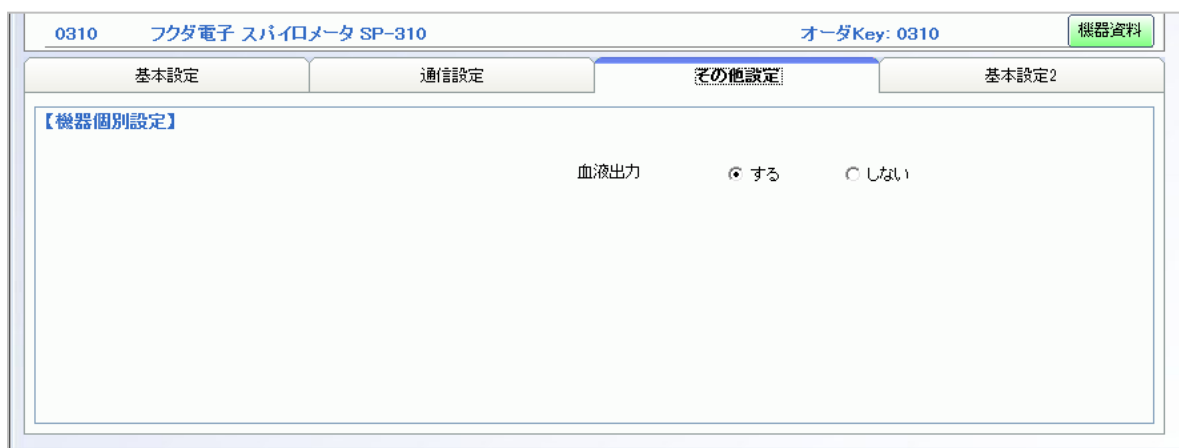
(1450) ユネクス 血管内皮機能検査 (FMD) UNEXEF

(1490) 東洋メディック X 線骨密度測定装置 B-Cube QDR



- (1520) 日本光電 骨量測定装置 Benusa(CSV)
- (1570) 大塚製薬 電解質測定器 Fingraph
- (1630) 日本電子 検査管理システム
- (1645) トプコン ノンコンタクトタイプトノメーター CT-1
- (1721) チェスト スパイロメータ Discom21FXⅢ
- (1790) テルモ MediSafeFitReader
- (1820) TOPCON オートレフケラトメーター KR-1
- (1850) アロカ 骨塩量測定装置 AOS-100SA
- (1910) フクダ電子 超音波骨密度測定装置 AOS-100E EggQus
- (1990) TOPCON オートレフケラトメーター KR-800
- (2120) 日本光電 骨量測定装置 Benus evo(CSV)
- (9011) 院外検査データ (RS\_Base フォーマット)
- (9012) 院外検査データ (RS\_Base フォーマット) 【常時監視】
- (9013) 院外検査データ (RS\_Base フォーマット) 【都度処理(OML)】
- (9014) 院外検査データ (RS\_Base フォーマット) 【常時処理(OML)】
- (9020) A&D 健診システム

⑤ その他設定を確認し、必要であれば設定を行って下さい。



#### 【機器個別設定】

機器により特別に設定が出来るエリアです。検査機器を選択した際に表示された場合に選択出来ます。

以下の設定が機器により可能です。

- 1) 通信方式 … 機器の通信方式の選択をします。通信方式の選択は検査機器を確認して選択して下さい。

設定可能な検査機器： (1210) アークレイ 尿化学分析装置 AX-4280

【機器個別設定】		
通信方式	<input checked="" type="radio"/> 単方向	<input type="radio"/> 双方向

2) 鼻腔の単位 …… 鼻腔通気の検査の単位を選択します。単位の選択は検査機器を確認して選択して下さい。

設定可能な検査機器： (0260) チェスト スパイロメータ HI-801

【機器個別設定】		
血液出力	<input checked="" type="radio"/> する	<input type="radio"/> しない
鼻腔の単位	<input checked="" type="radio"/> cmH20	<input type="radio"/> Pa

3) 血液出力 …… 肺 Flow や骨密度等で血液データも同時に出力ファイリングするかどうかを指定します。

設定可能な検査機器： (0150) フクダ電子 スパイロメータ SP-350COPD、SP-350  
 (0230) チェスト スパイロメータ HI-101、HI-201  
 (0260) チェスト スパイロメータ HI-801  
 (0310) フクダ電子 スパイロメータ SP-310  
 (0400) フクダ電子 スパイロメータ SP-770COPD  
 (0540) アロカ 骨塩量測定装置 DCS-600  
 (0720) チェスト スパイロメータ HI-105  
 (0750) アロカ 骨塩量測定装置 DCS-600EXV  
 (1020) 古野電気 超音波骨密度測定装置 CM-200  
 (1150) フクダ電子 スパイロメータ SP-370COPD  
 (1820) TOPCON オートレフケラトメーター KR-1  
 (1990) TOPCON オートレフケラトメーター KR-800  
 (2110) 日本光電 骨量測定装置 Benus evo(RS-232C)  
 (2120) 日本光電 骨量測定装置 Benus evo(CSV)

【機器個別設定】		
血液出力	<input checked="" type="radio"/> する	<input type="radio"/> しない

4) 出力モード(HbA1c) … 試薬によって JDS と NGSP の出力が異なる場合に設定します。

設定可能な検査機器： (0550) シーメンス 糖尿病分析装置 DCA バンテージ

<b>【機器個別設定】</b>		
出力モード(HbA1c)	<input checked="" type="radio"/> JDS	<input type="radio"/> NGSP

5) XML ファイル出力フォルダ (IDEXX 用) … オーダーデータを出力するフォルダを指定する場合に設定します。

設定可能な検査機器： (1410) IDEXXX ペットラボステーション

<b>【機器個別設定】</b>	
XMLファイル出力フォルダ(IDEXX用)	<input type="text"/> <input type="button" value="参照"/>

6) 出力形式 … 出力形式を PDF か JPG で選択することができます。

設定可能な検査機器： (1020) 古野電気 超音波骨密度測定装置 CM-200

<b>【機器個別設定】</b>		
血液出力	<input checked="" type="radio"/> する	<input type="radio"/> しない
出力形式	<input checked="" type="radio"/> PDF	<input type="radio"/> JPG

7) 出力形式 … 出力形式を CSV か JPG か PDF で選択することができます。

設定可能な検査機器： (1450) エネクス 血管内皮機能検査 (FMD) UNEXEF

<b>【機器個別設定】</b>			
出力形式	<input checked="" type="radio"/> CSV	<input type="radio"/> JPG	<input type="radio"/> PDF

8) 出力形式 … 出力形式を CSV か TXT で選択することができます。

設定可能な検査機器： (1490) 東洋メディック 骨密度測定装置 B-Cube QDR

<b>【機器個別設定】</b>		
出力形式	<input checked="" type="radio"/> CSV	<input type="radio"/> TXT

9) 出力形式 …IP メッセージの出力を  しない か  する で選択することができます。

設定可能な検査機器： (1190) シスメックス多項目自動血球分析装置 XS800i

**【機器個別設定】**

IPメッセージの出力  しない  する

10) ファイル形式…ファイル形式を  横形式 か  縦形式 で選択することができます。

設定可能な検査機器： (1910) フクダ電子 超音波骨密度測定装置 AOS-100E EggQus

**【機器個別設定】**

ファイル形式  横形式  縦形式

11) LOT…LOT を  LOT4 か  LOT5 で選択することができます。

設定可能な検査機器： (1030) 三和化学研究所臨床科学分析装置 BanalystACE

**【機器個別設定】**

LOT  LOT4  LOT5

12) 転送項目数…転送項目数を  18項目 か  19項目 で選択することができます。

設定可能な検査機器： (1460) アークレイ 血球計算器 SB-1420

**【機器個別設定】**

転送項目数  18項目  19項目

13) COM ポートがなくなった時の処理…COM ポートがなくなった時の処理を  Waitして待機 か  Waitしない で選択することができます。

設定可能な検査機器： (1110) テクノメディカハンディ型血液分析器 GASTAT-navi

(1330) ABAXIS 生化学血液自動分析装置 PiccoloXpress

(1780) ABAXIS 生化学血液自動分析装置 PiccoloClasic

**【機器個別設定】**

COMポートがなくなった時の処理  Waitして待機  Waitしない

- 14) IPメッセージの出力…IPメッセージの出力を  しない か  する で選択することができます。  
 オータ連携… オータ連携を  しない か  する で選択することができます。  
 (※)オータ連携は、通常は  しない に設定します。

設定可能な検査機器： (1190) シスメックス多項目自動血球分析装置 XS800i

**【機器個別設定】**

IPメッセージの出力  しない  する

オータ連携  しない  する

- 15) 通信プロトコル…通信プロトコルを A、B、E、H のいずれかを選択することができます。

設定可能な検査機器： (2050) エーアンドディー グルコース分析装置 GA09

**【機器個別設定】**

通信プロトコル  A  B  E  H

## ⑥ 基本設定 2

検査機器からのデータ以外に項目を追加手入力する場合に指定します。

一つ目の追加入力項目の設定は、③基本設定にあります。2つ目の項目追加入力する場合に、追加入力項目2の「する」にチェックを入れ、項目名称を入力して下さい。

0020 日本光電 全血全自動白血球計算器 MEK-6400 オータKey: 0020 機器資料

基本設定 通信設定 その他設定 **基本設定2**

追加入力項目2  する   しない

⑦ 機器資料ボタンをクリックすると検査機器個別の設定マニュアルが表示されます。

日本光電 全血全自動血球計数機 MEK-6400、MEK-6420

製造販売会社：日本光電株式会社  
http://www.nihonkohden.co.jp/



**1. 設定**

接続形式	RS-232C(クロスケーブル使用)
通信速度	9600 bps
データビット	8 bits
ストップビット	1 bits
パリティ	偶数
フロー制御	なし
文字コード	ASCII
RS_CommPro 検査機器ID	0020
RS_CommPro 初期表示名称	血算

**【機器側の設定】**  
 ① 機器側の設定で出力するモード、フォーマットをPCに設定してください  
 ② CRP装置と併用する場合にはRS-232CケーブルをCBC→CRP→PCと接続してください  
 ③ RS-232Cは機器側25ピン、PC側9ピンのクロスケーブルをご利用ください

**【RS\_Baseの設定】**  
 ① 血液データのための設定の必要はありません。

⑧ 更新ボタンで更新して下さい。

×	アークレイ 尿化学分析装置 AX-4280
×	日本光電 全血全自動白球計数器 MEK-6400
×	
×	
×	
×	
×	
×	
×	
<input type="button" value="全てクリア"/> <input type="button" value="更新"/>	

### 3. 初期設定(基準値設定)

1. メイン画面の設定(I)→基準値設定(U)にて表示されます。基準値設定は必須ではありませんが設定することでH、Lなどの異常値表示や院外の検査と同一時系列の表示が可能となります。

設定がない場合には RS\_CommPro の内部の検査コード、検査名で出力されます。

No.	検査コード	検査名	基準値(男性)	基準値(女性)	変更検査名	倍率	出力	該当	単位
1	0040010	WBC	30~150	~			する		
2	0040020	RBC	250~550	~			する		
3	0040030	HGB	8.0~17.0	~			する		
4	0040040	HCT	26.0~50.0	~			する		
5	0040050	MCV	86.0~110.0	~			する		
6	0040060	MCH	26.0~38.0	~			する		
7	0040070	MCHC	31.0~37.0	~			する		
8	0040080	PLT	5.0~40.0	~			する		
9	0040090	W-SCR	5.0~55.0	~			する		
10	0040100	W-MCR	1.0~20.0	~			する		
11	0040110	W-LCR	45.0~95.0	~			する		
12	0040120	W-SCC	~	~			する		
13	0040130	W-MCC	~	~			する		
14	0040140	W-LCC	~	~			する		
15	0040150	RDW-SD	37.0~54.0	~			する		
16	0040160	RDW-CV	11.0~16.0	~			する		
17	0040170	PDW	9.0~17.0	~			する		
18	0040180	MPV	9.0~13.0	~			する		
19	0040190	P-LCR	13.0~43.0	~			する		

- ① 新たに入力する場合には検査コード～単位までを入力し、更新ボタンにて画面下部にデータが追加されます。
- ② 既に入力されている場合には画面下部に基準値データが表示されます。修正したい行をダブルクリックすることで画面上部に表示され修正可能となります。
- ③ 登録済みの基準値データを削除する場合には行を選択し青反転させ削除ボタンで削除されます。

※複数行の選択は Shift で複数範囲選択、Ctrl で複数選択が可能です。

#### ④ 入力方法

##### 1) 検査コード

RS\_Base に登録する検査コードを指定します。検査コードは何でも構いませんが RS\_Base の初期値は検査コード順に血液データを表示しますので、数字にて順番指定していただくことをお勧めします。また、検査コードを出来るだけ小さな数字に設定することで RS\_Base で画面上部に表示されます。検査コードは RS\_Base のファイリングのキー項目です。別検査で同一の検査コードは指定しないように設定して下さい。

##### 2) 検査名

RS\_CommPro の検査名です。RS\_CommPro ではこの検査名にて基準値の設定データがあるかどうかを判定するキー項目となっております。検査名の詳細は各検査機器説明書の「出力項目」をご確認いただき、基準値設定を行う場合には、各検査機器説明書の検査名を入力して下さい。

### 3) 変更検査名

RS\_Base に登録する検査名です。院外検査と同一時系列に設定したい場合や見やすい表記にしたい場合に指定して下さい。例) WBC → 白血球 などです。

### 4) 基準値

男性、女性それぞれの基準値を指定して下さい。男女同一の場合は男性のみの設定で構いません。

基準値右のプルダウンにて「未満」「以下」「以上」の設定が可能です。

(※)基準値を設定することで RS\_Base にファイリング時に異常値をつけてファイリングします。機器によっては受信データに異常値が付与されています。この場合には基準値設定がない場合でも異常値をつけて RS\_Base にファイリングします。受信データに異常値が付与されている場合でも基準値設定がある場合には基準値設定を優先します。

### 5) 倍率

検査機器によっては、院外と単位が違い、桁があわない場合があります。その場合の設定で、指定された倍率で結果値を計算し RS\_Base にファイリングします。

(※) 白血球、赤血球、血小板などで多く見受けられます。

### 6) 出力

RS\_Base に出力するかどうかの設定です。RS\_CommPro では受信データ全てをファイリングしますが RS\_Base で閲覧しない場合や不要な場合には「しない」に設定して下さい。

(※) 出力するかしないかの検査の判断は、“検査名”で行いますので、検査名の大文字、小文字を区別して設定して下さい。

### 7) 該当検査

RS\_CommPro の検査機器 ID を指定します。検査機器 ID の詳細は各検査機器説明書の「RS\_CommPro 検査機器 ID」をご確認下さい。この設定は複数の検査機器で同一の検査名がある場合に該当検査機器 ID を指定することで重複した検査名称の基準値設定を避ける意味合いで指定します。

例) (0670)アークレイ化学自動分析装置 SP-4430、(0250) 三和化学研究所尿化学分析装置 VisualReader の 2 機種を接続した場合、SP-4430、VisualReader 共に「GLU」項目が出力されます。SP-4430 の GLU は血糖、VisualReader の GLU は尿糖ですが、機械的には同一項目となり初期値のままですと RS\_Base には同一時系列で表示されます。また、基準値設定を血糖である GLU で指定しても尿糖の GLU も対象となってしまうため、RS\_Base の表示もおかしな表示となります。この場合、基準値設定を血糖で行った場合の該当検査に 0670 を設定しておくことで、SP-4430 の場合のみ基準値の判定がされるようにプログラムを作成しており、尿糖の GLU には反応しません。項目は同一だが検査項目の意味合いが違う場合などにご利用下さい。それ以外には設定は不要です。

### 8) 単位

指定した単位で RS\_Base にファイリングします。

※指定がない場合でも受信したデータに単位があれば出力を行います。



**【既存の RS\_Comm の基準値情報の移行について】**

既存の RS\_Comm の基準値データは RS\_Comm.exe フォルダ内の dat¥RS\_KENSA.DAT となっております。  
このデータの名前を RS\_KIJYUN.DAT に変更後下記フォルダ内にコピーして下さい。

WindowsXP の場合には

C:¥Documents and Settings¥[ログインユーザ]¥Application Data¥RS\_CommPro

WindowsVISTA、7 の場合には

C:¥ユーザ¥[ログインユーザ]¥AppData¥Roaming¥RS\_CommPro

(※) 複数の RS\_Comm でご利用の場合はそれぞれの RS\_KENSA.DAT ファイルをメモ帳等でひとまとめにして上記フォルダにコピーして下さい。

## 4. 初期設定(全般的な設定)

1. メイン画面の設定(I)→全般的な設定(Z)にて表示されます。

この設定はオプションですので必須ではありません。

各項目を入力、チェックを入れ、更新ボタンにてデータが更新されます。

### ①初期設定

全般的な設定

ファイル(F)

設定

初期設定 送信時設定 印刷設定 患者情報設定 バーコード その他

**初期設定**

医療機関名

ライセンスキー 99999999 RS\_Base用フリーライセンス

**起動時の処理**

最小化する  表示を通信状況のみとする

タスクトレイへ

起動時にしばらくWaitさせる(COMポート確立までWait)

**終了時の処理**

削除済を消去する

**画面表示関係**

画面位置を指定する

ボタン表示名称

RS_Base	送信	削除	印刷	
X 450 Y 500	RS_Base	送信	削除	印刷

検査表示順

#### 【 初期設定 】

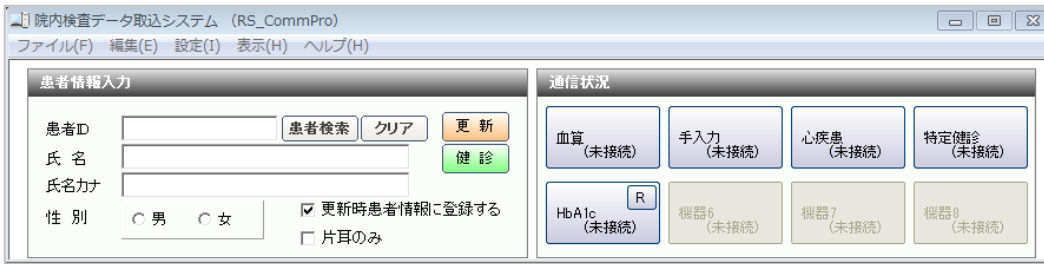
- 医療機関名 … 入力すると初期画面の画面下部に表示されます。
- ライセンスキー … 現在未使用

#### 【 起動時の処理 】

- 最小化する  
初期画面がタスクバーに落ちます。画面の表示が不要な場合に利用して下さい。  
※初期値：チェックなし（最小化しません）

■表示を通信状況のみとする

下側の検査一覧が非表示となります。



■タスクトレイへ

現在未対応

■起動時にしばらく Wait させる (COM ポート確立まで Wait)

LAN 変換で接続をした場合等、仮想の COM ポートが作られる前に RS\_CommPro が起動してしまう場合などに利用して下さい。

※初期値：チェックなし

【 終了時の処理 】

■削除済を消去する

RS\_CommPro で受信データを削除した場合には一旦データは削除せず、削除済みに設定します。このデータを RS\_CommPro のプログラム終了時に削除する場合にはチェックを入れて下さい。

※初期値：チェックなし (消去しません)

【 画面表示関係 】

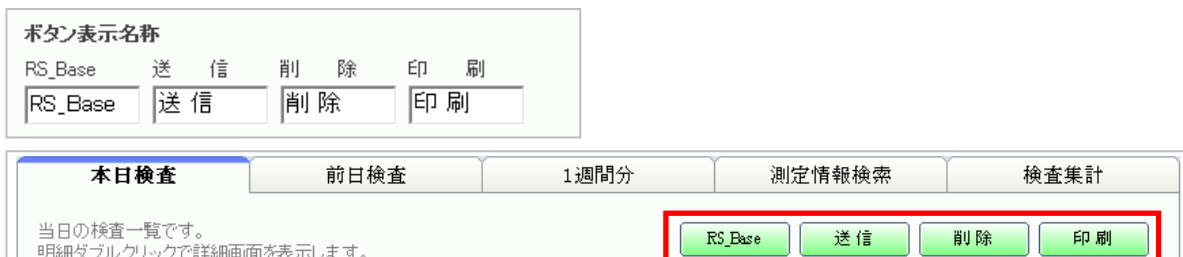
■画面位置を指定する

RS\_CommPro の画面位置を指定する場合に「画面位置を指定する」にチェックを入れ、座標を入力して下さい。指定がない場合には画面中央に表示します。

※初期値：チェックなし (画面中央)

■ボタン表示名称

ボタン表示名称を変更したい場合に利用して下さい。

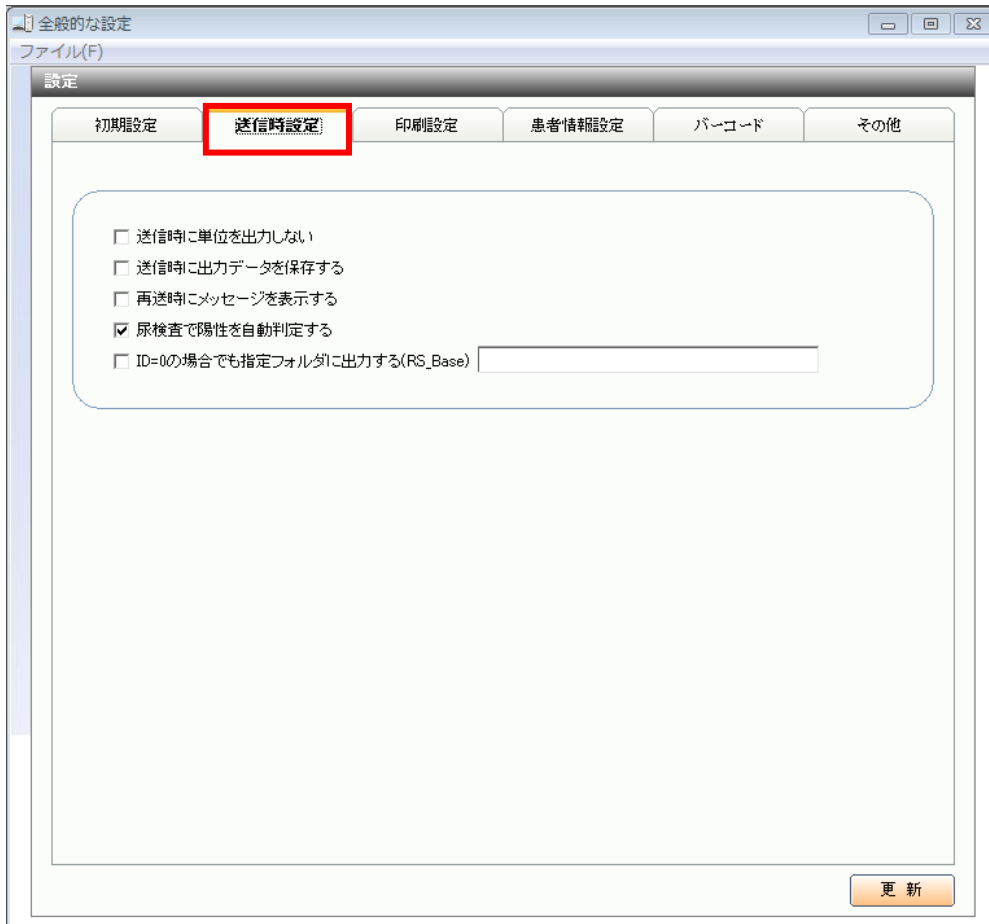


## ■ 検査表示順

検査表示の順番を変更したい場合に使用します。

※初期値：検査番号

## ② 送信時設定



### ■ 送信時に単位を出力しない

送信する際に単位を出力したくない場合に指定して下さい。基準値設定で倍率を設定した時に単位が変更になる場合がある時などに使用します。

※基準値設定で単位の変更も可能です。

### ■ 送信時に出力データを保存する

送信時にユーザ領域（P2 プログラム起動時のパソコンユーザ領域参照）Sout¥YYYYMMM フォルダにファイリングしたデータが保存されます。

### ■ 再送時にメッセージを表示する

再度送信する際に、メッセージを表示します。

■尿検査で陽性を自動判定する

尿検査で陽性の場合（+、++、1+、2+など）はRS\_Baseでファイリングする際に、Hをつけてファイリングします。

UROの場合は、+、++、1+、2+などはHで、-はLでファイリングします。

対象検査機器： (0120)シーメンス尿自動分析装置 クリニテックステータス  
(0250)三和化学研究所 VisualReader  
(0320)シーメンス クリニテック 500、アドバンタス  
(0850)アークレイ尿化学分析装置 PU-4010、PU-4210  
(0910)和光純薬 尿検査装置 RM-805  
(1090)アークレイ尿化学分析装置 AE-4020  
(1210)アークレイ尿化学分析装置 AX-4280  
(1840)栄研化学尿自動分析装置 US-2200  
(1880)三和化学研究所 尿化学分析装置 VisualReader II

■ID=0の場合でも指定フォルダに出力する(RS\_Base)

(通常は使用しません)

IDが「0」の患者データを指定したフォルダに出力します。チェックを入れ、出力したいフォルダを指定して下さい。

<input checked="" type="checkbox"/> ID=0の場合でも指定フォルダに出力する(RS_Base)	C:\gazou
---	----------

### ③印刷設定



#### ■印刷モード

検査結果を印刷したい場合に使用します。印刷モードを「する」に設定すると、受信データ表示エリアの印刷ボタンで検査結果を印刷することができます。

#### ■印刷時に単位を出力しない

印刷する際に単位を出力したくない場合に指定をして下さい。

#### ■印刷時に異常フラグを出力しない

印刷する際に異常フラグを出力したくない場合に指定をして下さい。

#### ④患者情報設定

#### 【 患者情報取得 】

RS\_Base でご利用の場合は、設定の必要はございません。

#### 【 患者情報一括出力 】

患者情報を一括で出力したい場合に使用します。

出力形式、出力先フォルダをそれぞれ指定し、更新ボタンにて更新をして下さい。その後、一括出力ボタンをクリックにて指定したフォルダに患者情報が出力されます。

#### ■ 動物病院での患者情報で種別を判別する

動物病院でペットの種別を判別する場合に利用して下さい。

## ⑤バーコード



### ■バーコード種別

利用したいバーコードの種別を選択して下さい。

### ■スタートキャラクター（NW-7のみ）

バーコード種別、NW-7を選択した場合に使用して下さい。

### ■ストップキャラクター（NW-7のみ）

バーコード種別、NW-7を選択した場合に使用して下さい。

### ■チェックデジットを使用する。

チェックデジットを必要とする場合に使用して下さい。

### ■データを表示しない

バーコードに患者IDを表示しない場合に使用して下さい。

### ■出力先指定

プリンタで出力するのか、画面で出力するのか選択をして下さい。

### ■プリンタ指定

出力先指定で「プリンタ」を選択した場合に、出力したいプリンタを指定して下さい。



## ■バーコード印字位置

プリンターで出力する場合など、バーコードの印字位置を変更したい場合に使用して下さい。

## ■線の太さ

線の太さを変更したい場合に使用して下さい。

## ■解像度(dpi)

解像度を変更したい場合に使用して下さい。

## ■配置

配置を変更したい場合に使用して下さい。

(※) バーコード表示・印刷については、12. 画面操作（バーコード機能）を参考にして下さい。

## ⑥その他



### 【 手入力関連 】

#### ■手入力を行う

RS\_CommPro で手入力を行う場合に指定します。項目編集をクリックすると、「手入力項目情報入力」画面が開きますので、検査コードと検査名を入力し、更新ボタンをクリックして下さい。

※詳しくは、ご利用方法「13. 画面操作（その他）」の「3. 手入力で送信する場合」を参考にして下さい。

■手入力時画面表示時も他の画面も操作可能とする

手入力の画面を表示している状態で、他の画面を操作したい場合に利用して下さい。

【 その他 】

■患者 ID 手入力時に表示を入力後クリアする

患者 ID を RS\_CommPro で入力に設定している場合で、連続して検査をしたい場合にチェックをします。  
チェックをすると、表示を入力後に入力した ID がクリアされます。

※初期値：チェックなし（ID はクリアされません）

■再表示を自動で行う（通常は使用しません）

画面を一定間隔（約 30 秒）で再表示します。

■ID 入力をオーダ番号（受診 No）とする。

健康診断などで患者 ID ではなく、受診 No で登録したい場合に使用します。

チェックをすると、患者情報入力欄の「患者 ID」が「受診 No」となります。



■追記時の日付初期値 ○空白 ○E ○A

同日に行う検査を別々に表示したい場合などに使用します。

RS\_CommPro にて血液検査を取り込む場合に、検査日の後ろに下記の表のように表示されます。

(※) 機器設定→基本設定の出力モードを追記にして下さい。

(例)	(1 回目検査)	(2 回目検査)	(3 回目検査)
空白を選択した場合：	2015/08/19	2015/08/19e	2015/08/19f
E を選択した場合：	2015/08/19e	2015/08/19f	2015/08/19g
A を選択した場合：	2015/08/19a	2015/08/19b	2015/08/19c

■削除分は表示しない

ご利用方法 5. 画面操作（削除機能）で説明した削除済みのデータを表示するかどうかを指定します。間違えて削除した場合などにご利用下さい。

※初期値：チェックあり（表示しない）

■右クリックメニューに検査者を表示する

検査者を登録したい場合に使用します。

検査者の登録は、ご利用方法 10. 画面操作(検査者指定)を参考にして下さい。

## 5. 初期設定(検査値変換)

1. メイン画面の設定(I)→検査値変換(C)にて表示されます。検査値を変換したい場合に設定を行うと、RS\_Baseを登録する際に変換して登録されます。

No.	検査コード	検査名	変換前	変換後	変換方法
0001	0010010	LEU	25	+-	全部一致
0002	1430010	体型	スタンダード	SSS	全部一致
0003	1430180	基礎代謝判定	量	aaa	部分一致

### 【検査値の変換】

- ①新たに入力する場合には、検査コード～変換方法までを入力し更新ボタンにて画面下部にデータが追加されます。

(※) 変換するかしないかの検査の判断は、「検査コード」で行います。検査コードは半角数字で入力をして下さい。(検査コードは、各機器説明書(機器資料)を参考にして下さい。)

【例1】基準値情報入力の変換方法を「全部一致」に指定した場合。

NO.	検査コード	検査名	変換前	変換後	変換方法
00001	00100100	LEU	25	+-	全部一致

検査値が「25」の場合のみ「+-」に変換してRS\_Baseへ登録します。

【例2】基準値情報入力の変換方法を「部分一致」に指定した場合。

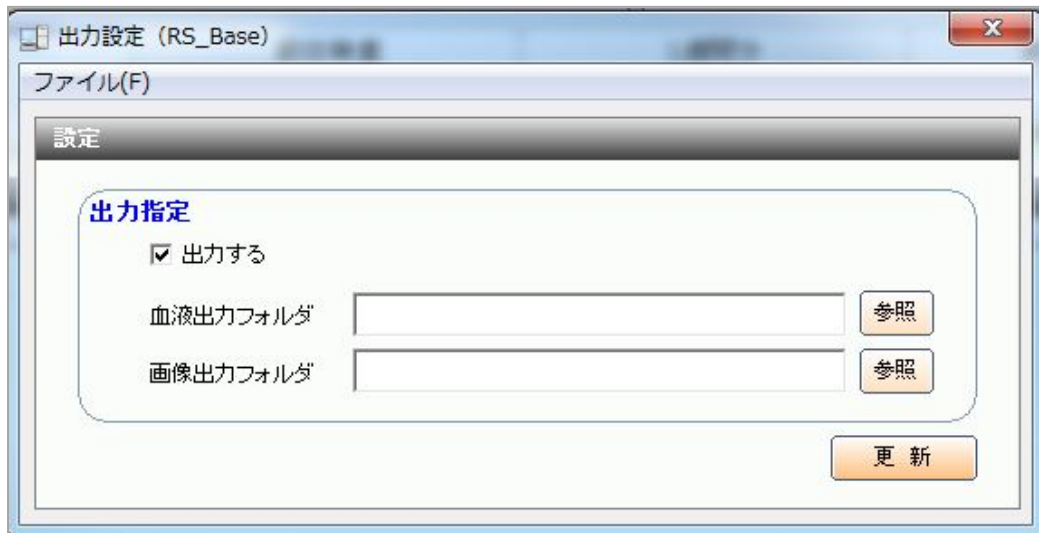
NO.	検査コード	検査名	変換前	変換後	変換方法
00001	00100100	LEU	25	+-	部分一致

「25」を含む検査値を「+-」に変換してRS\_Baseへ登録します。

- ②既に入力されている場合には、修正したい行をダブルクリックすると、画面上部に表示され変換可能となります。
  - ③登録済みの検査値データを削除する場合には、行を選択し青反転させ削除ボタンで削除されます。
- ※複数行の選択は Shift で複数範囲選択、Ctrl で複数選択が可能です。

## 6. 初期設定(出力設定)

1. メイン画面の設定(I)→出力設定(O)にて表示されます。この設定はオプションですので必須ではありません。血液データや画像データの出力先を指定したい場合に使用します。指定した場合には出力のみを行い、RS\_Base には保存されません。



- ① 出力指定… 参照をクリックして、血液データ、画像データの出力先フォルダを指定後、更新ボタンをクリックして下さい。

## 7. 初期設定(名称設定)

1. メイン画面の設定(I)→名称設定(M)にて表示されます。この設定はオプションですので必須ではありません。  
検査データに検査者を指定したい場合に使用します。



①名称設定・・・検査者をクリックして、KEY、名称を入力後、更新ボタンをクリックして下さい。KEYは何でも構いませんが、数字にて順番指定していただくことをお勧めします。同一のKEYコードは指定しないように設定して下さい。

※表示順は、KEY順に表示されます。

削除したい場合は、削除したい明細をクリックして青反転させた後、削除ボタンをクリックすると削除されます。

# ご利用方法

## 1. 初期画面

1. RS\_CommPro のメイン画面です。患者 ID の変更、通信状況、データの確認等が行えます。

The screenshot shows the RS\_CommPro main interface. It is divided into several sections:

- 1. メニューエリア (Menu Area):** Located at the top, containing menu items like 'ファイル(F)', '編集(E)', '設定(I)', '表示(H)', and 'ヘルプ(H)'. Below this are buttons for '患者検索', 'クリア', '更新', and '健診'.
- 2. 患者、通信状況表示エリア (Patient and Communication Status Display Area):** This area is split into two columns. The left column is for '患者情報入力' (Patient Information Input) with fields for '患者ID', '氏名', '氏名カナ', '性別' (radio buttons for male/female), and checkboxes for '更新時患者情報に登録する' and '片耳のみ'. The right column is for '通信状況' (Communication Status) with buttons for '血算 (未接続)', '手入力 (未接続)', '心疾患 (未接続)', '機器4 (未接続)', 'HbA1c (未接続)', '尿検査 (未接続)', '健診 (未接続)', and '機器0 (未接続)'. A small 'R' icon is also present.
- 3. 受信データ表示エリア (Received Data Display Area):** This area contains a tabbed interface with '本日検査' (Today's Exam), '前日検査' (Yesterday's Exam), '1週間分' (1 Week), '測定情報検索' (Measurement Information Search), and '検査集計' (Exam Summary). Below the tabs is a table with columns: '検査番号', '検査名', '検査日', '検体No', '状況', '患者番号', and '氏名'. Above the table are buttons for 'RS\_Base', '送信', '削除', and '印刷'. A note above the table says '当日の検査一覧です。明細ダブルクリックで詳細画面を表示します。' (Today's exam list. Double-click details to show detail screen).
- 4. ステータスバー (Status Bar):** Located at the bottom right, showing the date '2016/05/20' and time '11:57'.

### ① メニューエリア

データの更新、検査機器、基準値設定、バージョン情報、取扱説明書などが可能です。

### ② 患者、通信状況確認エリア

患者情報の入力はデータを選択後の ID 変更、ID 入力を RS\_CommPro で行うに設定した場合の ID 入力に使用します。通信状況は設定した機器の通信状況の確認です。機器設定の起動時自動接続に設定した場合にはプログラム起動と同時に接続が開始され青色(通信中)となります。通信中にクリックすると灰色(切断中)となります。クリックにて通信→切断を繰り返します。表示されている名称は機器設定で入力した表示名称が表示されます。(※)切断中の場合にはデータを受信しません。

### ③ 受信データ表示エリア

本日検査、前日検査、1週間分、測定データの検索タブにて受信データが表示されます。受信データの明細をダブルクリックすることで詳細画面を表示します。受診データを選択し RS\_Base をクリックすることで、該当 ID の RS\_Base が開きます。受信データを選択(複数選択可)し送信することで RS\_Base に再度データを送信します。選択した受信データを選択(複数選択可)し削除することで RS\_CommPro からデータを削除します。受信データを選択(複数選択可)し印刷ボタンで印刷のダイアログが表示されプリンタを選択プリントで測定データが印刷されます。



(※)本日検査は本日の検査日のデータの表示です。昨日の検査データを本日検査機器から再送信した場合には前日検査タブに表示されます。

④ ステータスバー

データの登録、送信メッセージ、一般的な設定で入力された医療機関名、日付時間等が表示されます。

## 2. 画面操作(修正機能)

1. RS\_CommPro 内のデータを修正または削除する場合にはメイン画面または明細をダブルクリックして表示される詳細画面で行います。

The screenshot shows the RS\_CommPro software interface. The top window title is "院内検査データ取込システム (RS\_CommPro)". The menu bar includes "ファイル(F)", "編集(E)", "設定(I)", "表示(H)", and "ヘルプ(H)".

The interface is divided into several sections:

- 患者情報入力 (Patient Information Input):** Contains input fields for "患者ID", "氏名", and "氏名カナ". There are buttons for "患者検索", "クリア", "更新", and "健診". A checkbox "更新時患者情報に登録する" is checked, and "性別" is set to "男".
- 通信状況 (Communication Status):** Displays connection status for various devices: "血算 (未接続)", "手入力 (未接続)", "心疾患 (未接続)", "機器4 (未接続)", "HbA1c (未接続)", "尿検査 (未接続)", "健診 (未接続)", and "機器8 (未接続)".
- 検査一覧 (Inspection List):** A table with columns: "検査番号", "検査名", "検査日", "検体No", "状況", "患者番号", and "氏名". The table is currently empty.

Navigation buttons include "本日検査", "前日検査", "1週間分", "測定情報検索", and "検査集計". Action buttons include "RS\_Base", "送信", "削除", and "印刷". The status bar at the bottom right shows the date "2016/05/20" and time "11:57".

### 【患者情報の修正】

- ① 修正したい明細をクリックして青反転させます(複数選択の場合には Shift または Ctrl)
- ② 患者 ID～性別までの入力を行います。患者 ID 入力後、患者検索ボタンで RS\_CommPro 内に患者 ID があれば氏名～性別が表示されます。
- ③ 更新ボタンクリックで 検査データの患者情報が更新されます。
  - (※) メニュー→ファイル(F)→データ更新(U)も更新ボタンと同様の動作になります。
  - (※) 明細をダブルクリックした詳細画面でも修正は可能です。
  - (※) 検査日の修正は詳細画面でのみ可能です。更新された場合の状況は、(検査済み)に変わります。
- ④ 修正した明細をクリックして青反転させ、送信ボタンで RS\_Base に送信されます。
  - (※) ID を修正した場合は、RS\_Base 側で修正前の患者情報を削除して下さい。

### 3. 画面操作(RS\_Base 表示機能)

#### 1. RS\_CommPro から RS\_Base を開く場合

The screenshot shows the '院内検査データ取込システム (RS\_CommPro)' window. The '患者情報入力' (Patient Information Input) section includes fields for '患者ID', '氏名', '氏名カナ', and '性別' (Male/Female). There are buttons for '患者検索', 'クリア', '更新', and '健診'. A checkbox is labeled '更新時患者情報に登録する' (Register patient information at update) and another is '片耳のみ' (Only one ear). The '通信状況' (Communication Status) section shows various connection statuses for '血管', '手入力', '心疾患', '機器4', 'HbA1c', '尿検査', '健診', and '機器8'. Below this is a navigation bar with tabs for '本日検査', '前日検査', '1週間分', '測定情報検索', and '検査集計'. The '本日検査' tab is active. Below the navigation bar, there is a text area with instructions: '当日の検査一覧です。明細ダブルクリックで詳細画面を表示します。' (This is a list of tests for the day. Double-click the details to display the detailed screen). A red box highlights the 'RS\_Base' button, along with '送信', '削除', and '印刷' buttons. Below this is a table with columns: '検査番号', '検査名', '検査日', '検体No', '状況', '患者番号', and '氏名'. The table is currently empty. The bottom right corner shows the date '2016/05/20' and time '11:57'.

#### 【RS\_CommPro から RS\_Base を表示させる】

- ① 表示させたい明細をクリックして青反転させます。
- ② RS\_Base ボタンをクリックすると、選択した行の該当 ID の RS\_Base が表示されます。

## 4. 画面操作(送信機能)

### 1. RS\_CommPro 内のデータを送信する場合

The screenshot shows the RS\_CommPro software interface. At the top, there is a menu bar with options: ファイル(F), 編集(E), 設定(I), 表示(H), ヘルプ(H). Below the menu bar, there are two main sections: '患者情報入力' (Patient Information Input) and '通信状況' (Communication Status). The '患者情報入力' section contains fields for Patient ID, Name, Surname, Gender, and checkboxes for '更新時患者情報に登録する' and '片耳のみ'. The '通信状況' section shows various connection statuses for different devices and functions, such as '血算 (未接続)', '手入力 (未接続)', '心疾患 (未接続)', '機器4 (未接続)', 'HbA1c (未接続)', '尿検査 (未接続)', '健診 (未接続)', and '機器8 (未接続)'. Below these sections, there are tabs for '本日検査', '前日検査', '1週間分', '測定情報検索', and '検査集計'. The '本日検査' tab is selected. Below the tabs, there is a text area with instructions: '当日の検査一覧です。明細ダブルクリックで詳細画面を表示します。' and buttons for 'RS\_Base', '送信', '削除', and '印刷'. The '送信' button is highlighted with a red box. Below the text area is a table with columns: '検査番号', '検査名', '検査日', '検体No', '状況', '患者番号', and '氏名'. The table is currently empty. At the bottom right, there is a date and time display: '2016/05/20 11:57'.

#### 【検査データの送信】

- ① 送信したい明細をクリックして青反転させます(複数選択の場合には Shift または Ctrl)。
- ② 送信ボタンで RS\_Base に送信されます。

機器設定で自動転送をしないに設定した場合には状況が「検査済」になっておりますので、チェック選択後送信ボタンにて送信が行われます。自動転送をするに設定していても送信エラー等で送信が行われなかった場合や ID 間違い等でデータを修正した場合には再度送信を行って下さい。

(※) メニュー→ファイル(F)→データ送信(S)も送信ボタンと同様の動作になります。

(※) 送信済の状況でも選択された場合には RS\_Base に送信を行います。

## 5. 画面操作(削除機能)

### 1. RS\_CommPro 内のデータを削除する場合

The screenshot shows the RS\_CommPro software interface. The main window is titled "院内検査データ取込システム (RS\_CommPro)". The menu bar includes "ファイル(F)", "編集(E)", "設定(I)", "表示(H)", and "ヘルプ(H)".

The interface is divided into several sections:

- 患者情報入力 (Patient Information Input):** Contains fields for "患者ID", "氏名", "氏名カナ", and "性別" (Male/Female). There are buttons for "患者検索", "クリア", "更新", and "健診". Checkboxes for "更新時患者情報に登録する" and "片耳のみ" are also present.
- 通信状況 (Communication Status):** Displays connection status for various devices: "血算 (未接続)", "手入力 (未接続)", "心疾患 (未接続)", "機器4 (未接続)", "HbA1c (未接続)", "尿検査 (未接続)", "健診 (未接続)", and "機器8 (未接続)".
- 検索タブ (Search Tabs):** Includes "本日検査" (Today's Exam), "前日検査", "1週間分", "測定情報検索", and "検査集計".
- 操作ボタン (Action Buttons):** Includes "RS\_Base", "送信", "削除" (highlighted with a red box), and "印刷".
- 当日分 (Today's Data):** A table with columns: "検査番号", "検査名", "検査日", "検体No", "状況", "患者番号", and "氏名". The table is currently empty.

The status bar at the bottom right shows the date "2016/05/20" and time "11:57".

#### 【検査データの削除】

- ① 削除したい明細をクリックして青反転させます（複数選択の場合には Shift または Ctrl）
- ② 削除ボタンクリックで選択した検査データが削除されます。
  - (※) メニュー→ファイル(F)→データ削除(D)も削除ボタンと同様の動作になります。
  - (※) 明細をダブルクリックした詳細画面でも削除は可能です。

## 6. 画面操作(印刷機能)

### 1. RS\_CommPro 内のデータを印刷する場合

The screenshot shows the RS\_CommPro software window. The title bar reads "院内検査データ取込システム (RS\_CommPro)". The menu bar includes "ファイル(F)", "編集(E)", "設定(I)", "表示(H)", and "ヘルプ(H)".

The interface is divided into several sections:

- 患者情報入力 (Patient Information Input):** Includes fields for "患者ID", "氏名", "氏名カナ", and "性別" (Male/Female). There are buttons for "患者検索", "クリア", "更新", and "健診". A checkbox "更新時患者情報に登録する" is checked, and "片耳のみ" is unchecked.
- 通信状況 (Communication Status):** Shows connection status for "血算 (未接続)", "手入力 (未接続)", "心疾患 (未接続)", "機器4 (未接続)", "HbA1c (未接続)", "尿検査 (未接続)", "健診 (未接続)", and "機器8 (未接続)".
- 検査タブ (Exam Tabs):** Includes "本日検査" (highlighted), "前日検査", "1週間分", "測定情報検索", and "検査集計".
- 操作ボタン (Action Buttons):** "RS\_Base", "送信", "削除", and "印刷" (highlighted with a red box).
- Table:** A table with columns: "検査番号", "検査名", "検査日", "検体No", "状況", "患者番号", and "氏名". The table is currently empty.

The status bar at the bottom shows the date "2016/05/20" and time "11:57".

#### 【検査データの印刷】

- ① 印刷したい明細をクリックして青反転させます(複数選択の場合には Shift または Ctrl)。
- ② 印刷ボタンで印刷のダイアログが表示されますのでプリンタを選択して印刷します。

機器設定で受信時プリントアウトをするに設定した場合、指定プリンタから自動印刷されます。

(※) 印刷は 1 検査 1 ページで印刷されます。

(※) 自由レイアウトには対応していませんが、出来るだけ左上に最小項目を印刷しております。

横幅の大きなシールやラベル印刷にも利用可能かもしれませんが、ご要望があれば別途専用用紙印刷も対応を行いたいと思っております。

検査名称:血算		
検査日:2012/11/07		
検査時間:16:36:44		
検体番号:000001		
(1001) テスト次郎		
-----		
WBC	7.6	
RBC	2.69	L
HGB	8.2	L g/dl
HCT	24.0	L %
MCV	89.3	um3
MCH	30.5	pg
MCHC	34.2	g/dL
PLT	301	g/dL
CRP	0.7	H mg/dL

## 7. 画面操作(検索機能)

1. RS\_CommPro 内のデータを検索する場合には測定情報検索タブにて行います。

院内検査データ取込システム (RS\_CommPro)

患者情報入力

患者ID  患者検索 クリア 更新  
氏名  健診  
氏名カナ   
性別  男  女  更新時患者情報に登録する  
 片耳のみ

通信状況

血算 (未接続) 手入力 (未接続) 心疾患 (未接続) 機器4 (未接続)  
HbA1c (未接続) 尿検査 (未接続) 健診 (未接続) 機器9 (未接続)

本日検査 前日検査 1週間分 **測定情報検索** 検査集計

各項目を入力・選択後検索ボタンで過去データの検索が可能です。  
明細ダブルクリックで詳細画面を表示します。

RS\_Base 送信 削除 印刷

検索

測定日 2016/05/19 ~ 2016/05/19 患者ID  状況  検索

検査番号	検査名	検査日	検体No	状況	患者番号	氏名
00002872	健診	2016/05/19 00:00:00	000000	検査済	999	山田 太郎
00002871	特定健診	2016/05/19 00:00:00	000000	検査済	999	山田 太郎
00002870	手入力	2016/05/19 11:00:54	000000	○送信済	999	山田 太郎

情報検索 (3件表示) 2016/05/20 12:10

### 【検査データの検索】

① 測定日(From~To)、患者 ID、状況を選択し検索ボタンで RS\_CommPro 内のデータを検索します。

(※) 検索条件は全て AND 条件です。

(※) 日付を検索条件に入れない場合は、チェックをはずして下さい。

## 8. 画面操作(検査集計機能)

1. 該当患者で 1 日にどの検査をしたのかを表示します。

	血算	手入力	心疾患	機器4	HbA1c	尿検査	
(999) 山田 太郎		検査済					

### 【検査集計】

①測定日、患者 ID を選択し検索ボタンにて、1 日にどの検査をしたのかを表示します。

(※) 検索条件は全て AND 条件です。

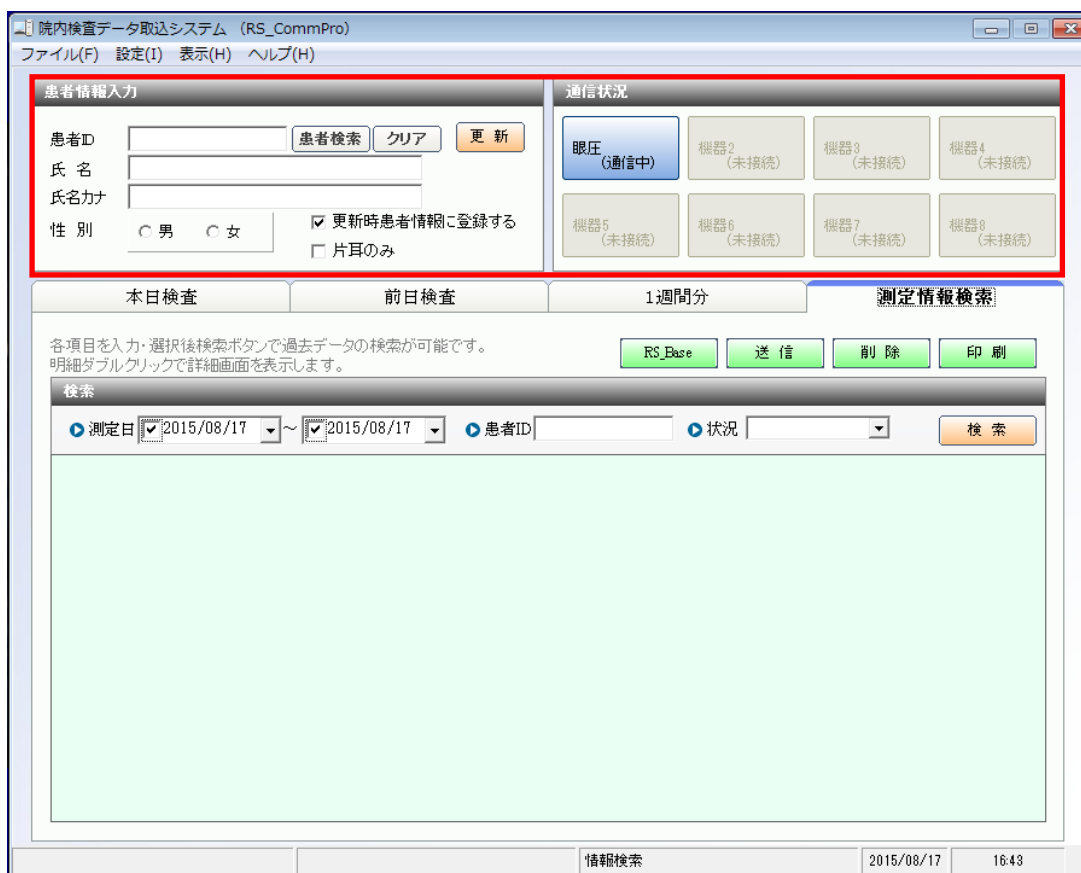
(※) 日付を検索条件に入れない場合は、チェックをはずして下さい。



## 9. 画面操作(RS\_CommPro での患者 ID を入力後測定する)

1. RS\_CommPro にて患者 ID を入力した後に測定する場合に使用します。

この機能を使うには、機器設定にて患者 ID 入力方法を RS\_CommPro で入力に設定をして下さい。



### 【RS\_CommPro での患者 ID 入力】

- ① 機器設定にて患者 ID 入力方法を RS\_CommPro で入力に設定した場合にはプログラム起動時には通信状況が切斷中(灰色)になっています。
  - ② 患者 ID を入力し患者検索ボタンをクリックします。RS\_CommPro 内に患者 ID がある場合には氏名～性別まで表示されます。
  - ③ 検査を行う機器を選択します。通信状況欄の該当検査ボタンをクリックすることでボタンが通信中(青色)に変わり機器と通信中となります。
  - ④ 受信したデータは入力した患者 ID でデータが生成されます
- ※ 機器設定で患者 ID 入力方法を「検査機器で入力」に設定した場合でも上記方法にてご利用の場合は RS\_CommPro で入力した ID が優先されます。

## 10. 画面操作(通信状況)

1



2



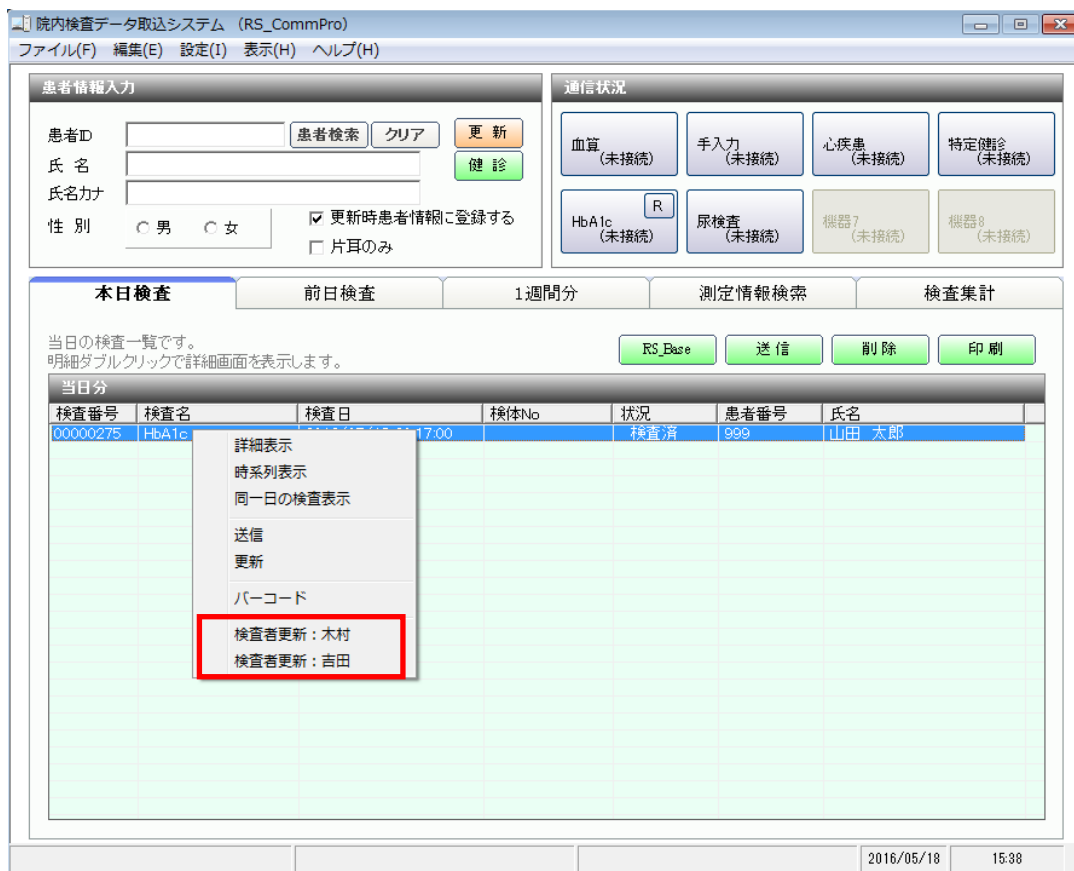
### 【通信状況】

- ① 機器設定にて起動時自動接続に設定した場合、起動時に自動通信(画面左)となり青色となります。
  - ② 以外の場合には②になりますので、起動表示後ボタンをクリックして下さい。
  - ③ ボタンクリックにて通信→未接続→通信と切替が出来ます。
- (※) 常時起動しているにも関わらず通信中が自動的に未接続になる場合は通信プログラムがエラーとなり終了している可能性があります。機器設定のCOMポートが重複しているなどの原因が考えられますので機器設定をご確認下さい。

## 11. 画面操作(検査者指定)

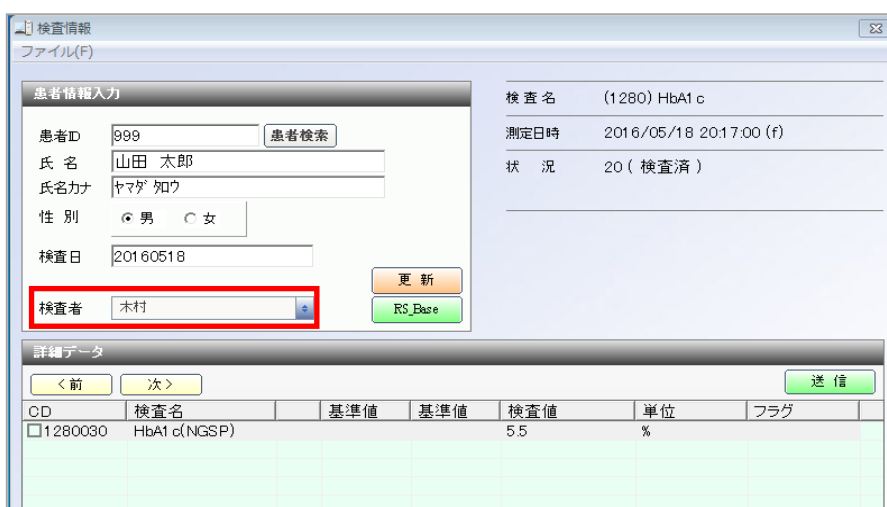
1. RS\_CommProにて検査者を登録します。

名称設定にて検査者を登録した場合に使用します。



- ① 検査者を登録したい明細をクリックして青反転させます。
- ② 右クリックすると、検査者が表示されますので、登録したい検査者を選択して下さい。

詳細画面を表示すると、先ほど選択した検査者が登録されています。



詳細画面からでも検査者を登録することができます。

詳細画面を表示し、検査者をプルダウンで選択後、更新ボタンをクリックして下さい。

(※) RS\_Baseには検査者は表示されません。

## 12. 画面操作(バーコード機能)

1. RS\_CommPro でバーコードを作成する場合に使用します。

この機能を使うには、全般的な設定のバーコードタブでバーコードの設定を行う必要があります。詳細は、4. 初期設定 (全般的な設定) ⑤バーコードを参考にして下さい。



### 【バーコードの入力と印刷】

#### ■ ID を入力し、表示させる方法

① メイン画面のファイル(F)→バーコード入力画面(B)にて、バーコード入力/印刷(出力)画面が開きます。

※全般的な設定のバーコードタブで設定した条件が表示されます。

② 患者 ID を入力し、作成ボタンをクリックすると上段にバーコードが表示されます。

入力画面でも一時的に条件の変更が出来ますので、変更する場合は該当する項目を変更した後、再度作成ボタンをクリックして下さい。

(※)ラベルプリンターでも印刷することができます。

## ■明細からバーコードを印刷する方法

患者 ID を入力しなくても明細からバーコードを印刷することができます。

この機能は、全般的な設定の出力先指定を「プリンタ」にした場合に利用できます。

The screenshot shows a software interface for managing examination records. At the top, there are tabs for '本日検査' (Today's Examination), '前日検査' (Yesterday's Examination), '1週間分' (1 Week), '測定情報検索' (Measurement Information Search), and '検査集計' (Examination Summary). Below the tabs, there are buttons for 'RS\_Base', '送信' (Send), '削除' (Delete), and '印刷' (Print). A table displays examination details for a specific date (2016/05/19). The first row is highlighted in blue. A context menu is open over this row, with the 'バーコード' (Barcode) option highlighted by a red rectangle.

検査番号	検査名	検査日	検体No	状況	患者番号	氏名
00002870	手入力	2016/05/19 11:00:54	000000	○送信済	999	山田 太郎

Context Menu Options:

- 詳細表示
- 時系列表示
- 同一日の検査表示
- 送信更新
- バーコード**
- 検査者更新: 木村
- 検査者更新: 吉田

- ① バーコードを印刷したい患者の明細をクリックして青反転させます。
- ② 右クリックし、バーコードをクリックすると、該当患者のバーコードが印刷されます。

## 13. 画面操作(その他)

### 1. ティンパノの測定で片耳のみ測定する場合

院内検査データ取込システム (RS\_CommPro)  
ファイル(F) 設定(I) 表示(H) ヘルプ(H)

患者情報入力

患者ID  患者検索 クリア 更新

氏名

氏名カナ

性別  男  女  更新時患者情報に登録する  片耳のみ

通信状況

ティンパノ (未接続) 機器2 (未接続) 機器3 (未接続) 機器4 (未接続)

機器5 (未接続) 機器6 (未接続) 機器7 (未接続) 機器8 (未接続)

本日検査 前日検査 1週間分 測定情報検索

当日の検査一覧です。  
明細ダブルクリックで詳細画面を表示します。

RS\_Base 送信 削除 印刷

検査番号	検査名	検査日	検体No	状況	患者番号	氏名
------	-----	-----	------	----	------	----

当日分 2015/08/17 16:49

設定可能な検査機器： (0070) RION チンパノメトリー検査 RS-33  
(1670)リオン チンパノメトリー検査 RS-M1

#### 【片耳のみ測定する】

- ① 機器設定にてティンパノに設定した場合、患者情報入力欄に□片耳のみが表示されます。
  - ② 片耳のみ測定をする場合は、片耳のみに☑を入れ測定をして下さい。
- (※) 初期値は両耳を測定した場合に設定しておりますので、片耳のみにチェックを入れないと送信されません。

## 2. 同日複数検査を送信したい場合

院内検査データ取込システム (RS\_CommPro)

患者情報入力

患者ID: 999 患者検索 クリア 更新

氏名: 山田 太郎

氏名カナ: ヤマタ タロウ

性別:  男  女

更新時患者情報に登録する  片耳のみ

通信状況

血算 (未接続) 生化学 (未接続) 機器3 (未接続) 機器4 (未接続)

機器5 (未接続) 機器6 (未接続) 機器7 (未接続) 機器8 (未接続)

本日検査 前日検査 1週間分 測定情報検索

当日の検査一覧です。  
明細をダブルクリックで詳細画面を表示します。

RS\_Base 送信 削除 印刷

検査番号	検査名	検査日	検体No	状況	患者番号	氏名
00000001	血算	2015/08/04 00:00:00	000000	送信済	999	山田 太郎(64)
00000002	血算	2015/08/04 00:00:00	000000	送信済	999	山田 太郎(64)
00000001	生化学	2015/08/04 11:22:00	000002	送信済	999	山田 太郎(64)

2015/08/04 10:12

① 2回目の検査も1回目と同様に検査を行います。(送信済みにします)

② 2回目の検査の明細部分をダブルクリックして詳細画面を開きます。

日付の後ろに a を付けて更新ボタンをクリックして下さい。

(例: 20150804 → 20150804a)

「検査データを更新します」→ OK → 「更新完了しました」→ OK で詳細画面が閉じられます。

検査情報

患者情報入力

患者ID: 999 患者検索

氏名: 山田 太郎

氏名カナ: ヤマタ タロウ

性別:  男  女

検査日: 20150804a 更新 RS\_Base

検査名: (1700) 血算

測定日時: 2015/08/04 00:00:00

状況: 30 (送信済)

送信

CD	検査名	基準値	基準値	検査値	単位	フラグ
<input type="checkbox"/> 1700010	WBC			75	10*2/uL	
<input type="checkbox"/> 1700020	RBC			445	10*4/uL	
<input type="checkbox"/> 1700030	HGB			13.6	g/dL	
<input type="checkbox"/> 1700040	HCT			40.2	%	
<input type="checkbox"/> 1700050	MCV			90.1	fL	
<input type="checkbox"/> 1700060	MCH			30.6	pg	
<input type="checkbox"/> 1700070	MCHC			33.8	g/dL	
<input type="checkbox"/> 1700080	PLT			27.3	10*4/uL	
<input type="checkbox"/> 1700000	コメント			888		
<input type="checkbox"/> 1700005	コメント2			222		

- ③ 1 回目のデータをクリックで青反転させ 送信ボタンにて RS\_Base に再度データを送ります。

当日の検査一覧です。  
明細タブをクリックで詳細画面を表示します。

RS\_Base 送信 削除 印刷

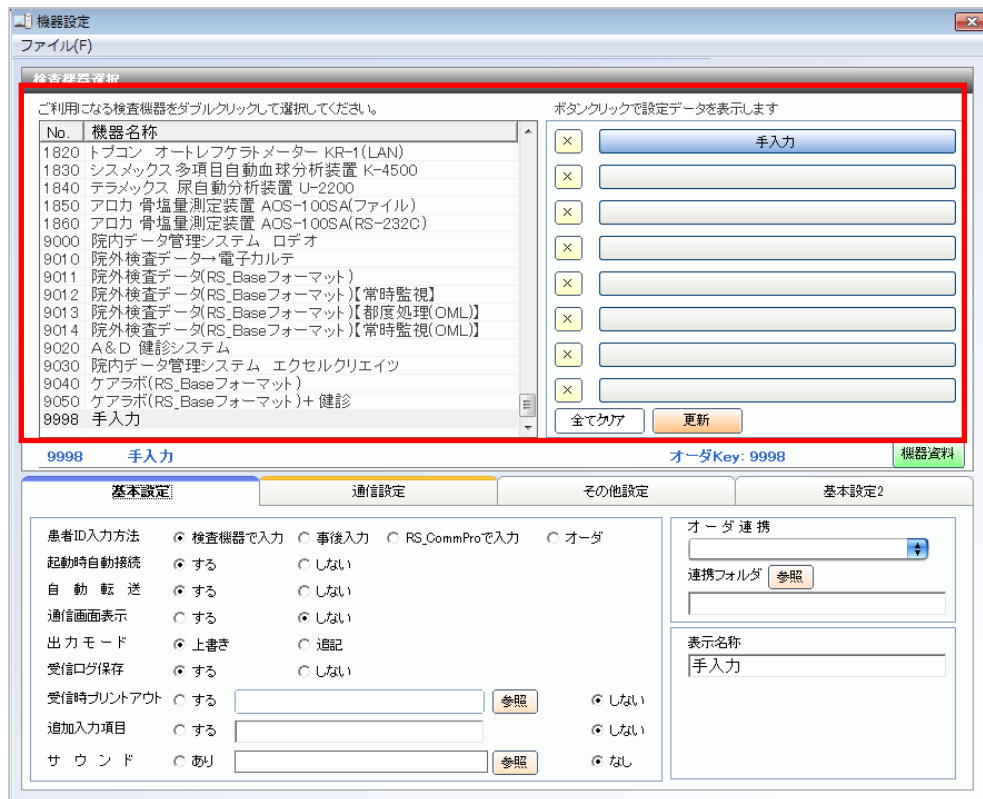
検査番号	検査名	検査日	検体No	状況	患者番号	氏名
00000068	血算	2015/08/04 00:00:00	000000	○送信済	999	山田 太郎(64)
00000002	血算	2015/08/04 00:00:00	000000	検査済	999	山田 太郎(64)
00000001	生化学	2015/08/04 11:22:00	000002	○送信済	999	山田 太郎(64)

- ④ 同様に、2 回目のデータをクリックで青反転させ 送信ボタンにて RS\_Base に再度データを送ります。



### 3. 手入力で送信する場合

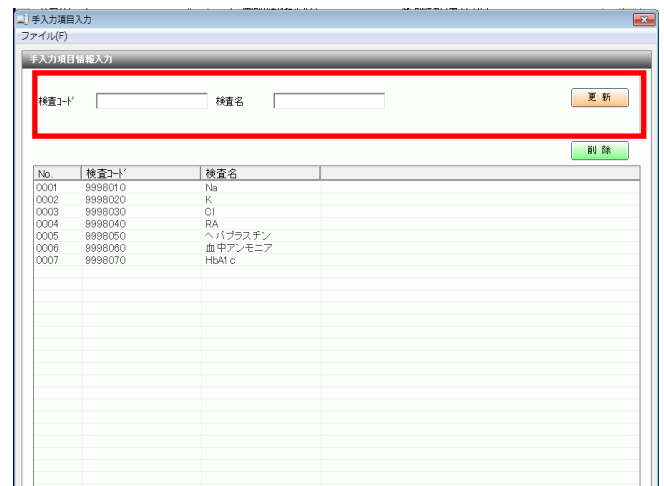
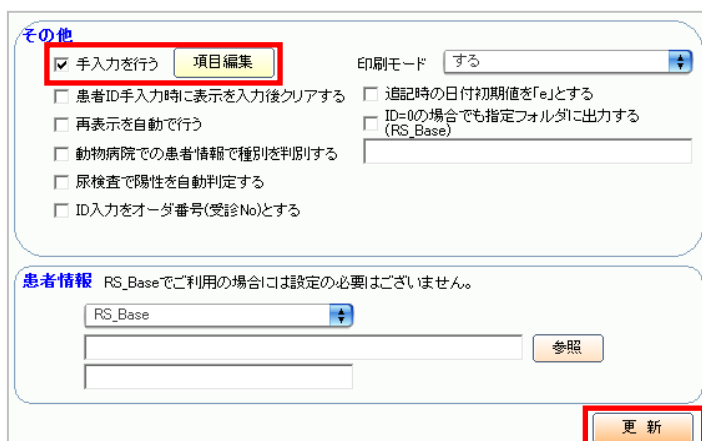
- ① メイン画面の設定→機器設定で、NO.9998 の手入力を選択し、更新して下さい。



- ② メイン画面の設定→全般的な設定のその他、「手入力を行う」に☑をして、更新ボタンをクリックして下さい。  
項目編集をクリックすると、手入力項目情報入力画面が開きますので、検査コードと検査名を登録し更新して下さい。

(※) 検査コードは、任意のコード（数字）を入力して下さい。

(※) 間違って登録した場合は、削除したい明細をクリックして青反転させ、削除ボタンをクリックして下さい。



③ 通信状況の手入力をクリックすると、手入力画面が表示されます。

■機器設定で自動転送を「する」に設定している場合。

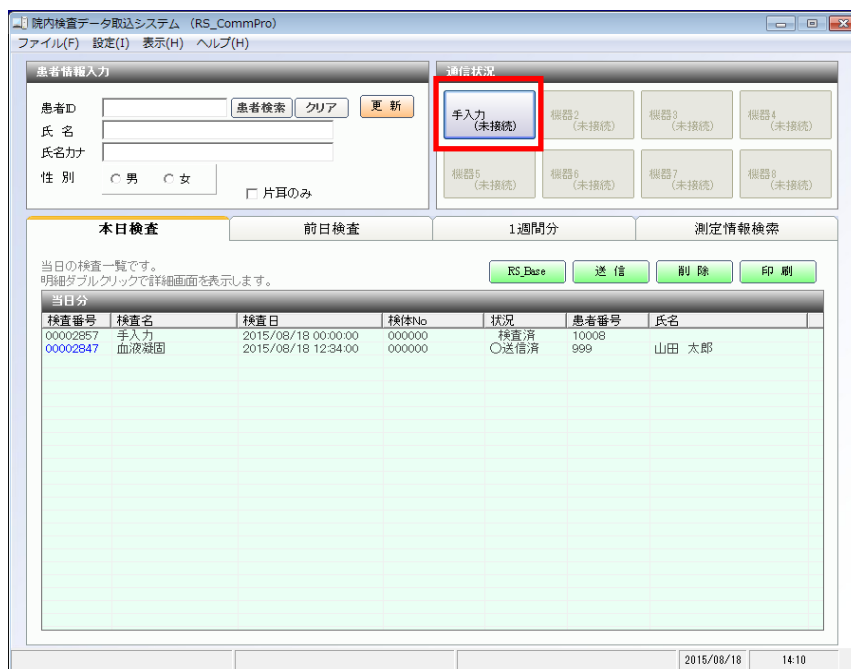
患者 ID を入力し、検査の数値を入力後、更新ボタンをクリックすると、自動的に転送されます。

■機器設定で自動転送を「しない」に設定している場合。

患者 ID を入力し、検査の数値を入力後、更新ボタンをクリックして下さい。そのまま RS\_Base に送信する場合は、更新ボタンクリック後、送信ボタンをクリックして下さい。

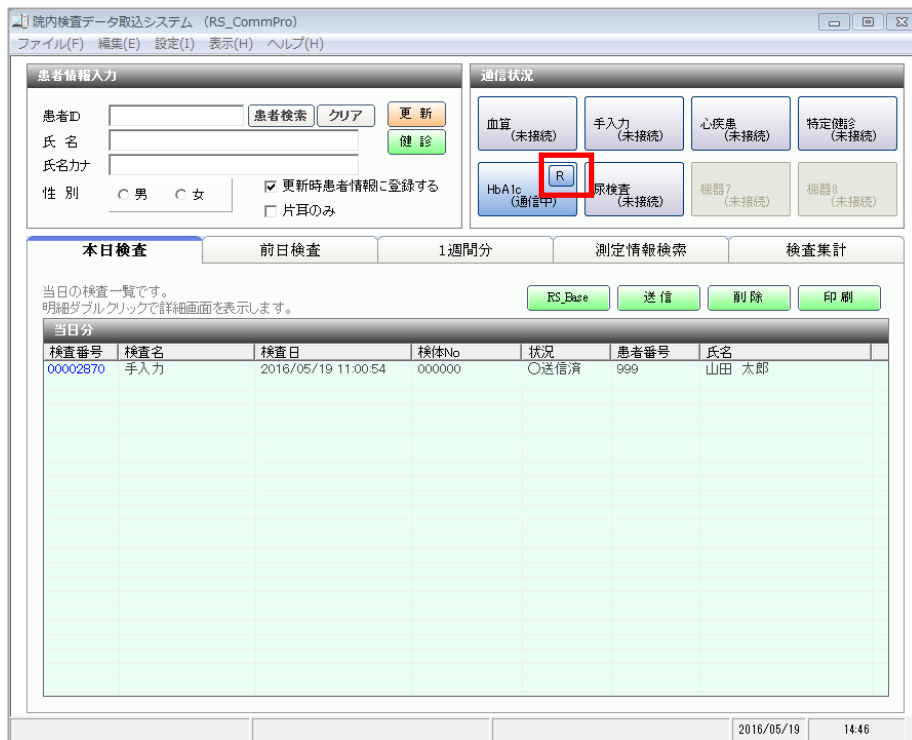
検査一覧より送信する場合は、送信したいデータを青反転させ送信ボタンにて送信されます。

(※) 検査一覧にデータが表示されない場合は、ファイル(F)→再表示(R)にて表示されます。



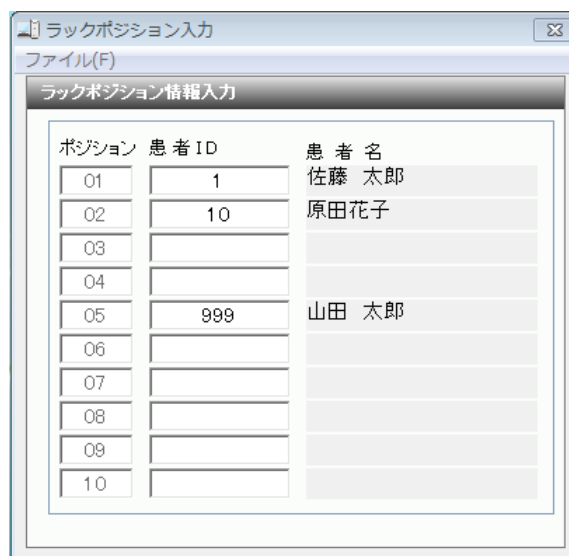
#### 4. ラックポジションに患者 ID を入力後測定する場合

機器設定にて患者 ID 入力方法を「ラック」に設定した場合に使用します。



設定可能な検査機器： (1690)東ソー グリコヘモグロビン分析計(HLC-723G11)

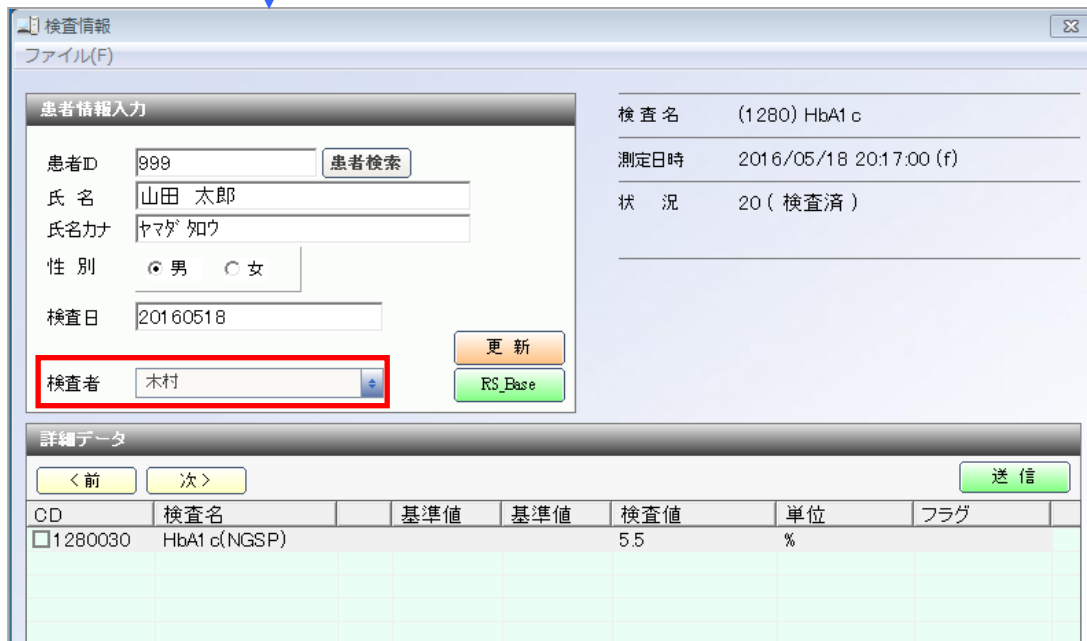
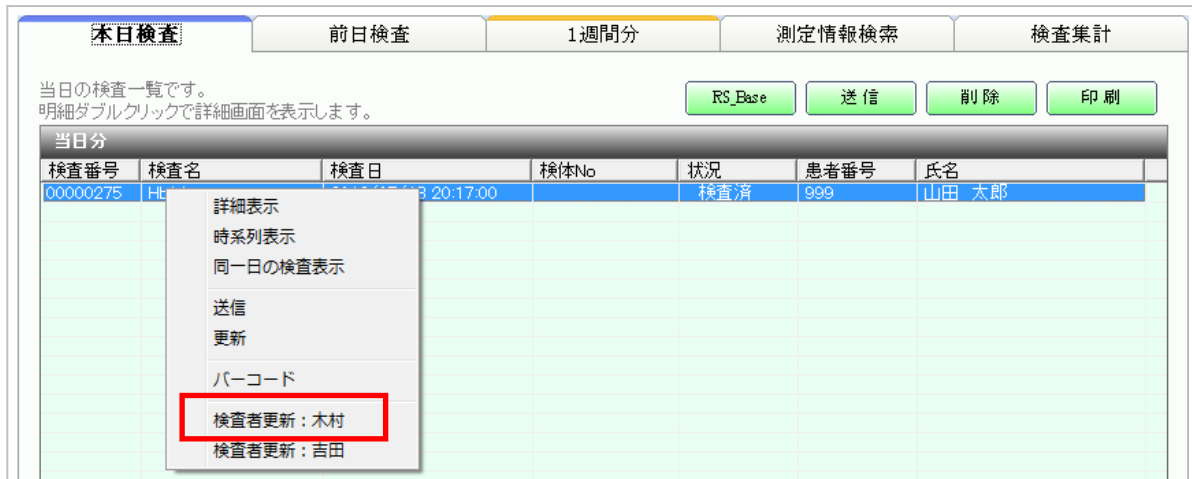
- ①機器設定にて患者 ID 入力方法をラックに設定した場合には、プログラム起動時には通信状況に「R」のボタンが表示されます。
- ②「R」部分をクリックするとラックポジション入力の画面が開きますので、患者 ID 欄に ID を入力して enter を押して下さい。



- ③データを受信すると、ラックポジションに入力した患者 ID は自動的に消えます。

## 5. 右クリックにて検査者を登録する方法

全般的な設定、その他にて右クリックメニューに検査者を表示するにチェックをしている場合に利用できます。該当の明細をクリックして青反転させ右クリックをして、登録したい検査者を選択して下さい。検査者は、ご利用方法 11. 画面操作(検査者指定)で登録した検査者が表示されます。詳細画面の検査者欄に検査者が登録されます。



## 6. オーダー連携にて送信した場合

初期設定（機器設定）でオーダの設定を行っている場合の送信方法です。設定内容については、2. 初期設定（機器設定）の基本設定、患者 ID 入力方法のオーダを選択した場合の設定方法を参考にして下さい。

RS\_Base からオーダの出力を行うと、RS\_CommPro が情報を取得し、一覧表示します。

The screenshot shows the RS\_CommPro software interface. The window title is "院内検査データ取込システム (RS\_CommPro)". The menu bar includes "ファイル(F)", "編集(E)", "設定(I)", "表示(H)", and "ヘルプ(H)".

The interface is divided into several sections:

- 患者情報入力 (Patient Information Input):** Fields for "患者ID", "氏名", "氏名カナ", and "性別" (Male/Female). Buttons for "患者検索", "クリア", and "更新" are present. Checkboxes for "更新時患者情報に登録する" and "片耳のみ" are also visible.
- 通信状況 (Communication Status):** A grid of buttons for different devices: "肺機能 (未接続)", "生化学 (未接続)", "血算(通信中) Key = 00002879" (highlighted in red), "機器4 (未接続)", "機器5 (未接続)", "機器6 (未接続)", "機器7 (未接続)", "機器8 (未接続)", "機器9 (未接続)", and "機器10 (未接続)".
- 検査タブ (Exam Tabs):** "本日検査" (Today's Exam), "前日検査", "1週間分", "測定情報検索", and "検査集計".
- 操作ボタン (Action Buttons):** "RS\_Base", "送信", "削除", and "印刷".
- 当日分 (Today's Data):** A table with columns: "検査番号", "検査名", "検査日", "オーダーNo", "状況", "患者番号", and "氏名". One row is highlighted in red: "00002879", "血算", "2017/03/14 00:00:00", "00002879", "検査待", "999", "山田 太郎(42)".

The status bar at the bottom right shows the date "2017/03/14" and time "12:18".

- ① 一覧から検査するデータをクリックして青反転させます。
- ② 通信状況欄の該当検査ボタンをクリックすることで、ボタンが通信中(青色)に変わり明細欄のオーダー NO が表示されます。
- ③ 検査終了後、一覧の「検査待」が「○送信済」となり RS\_Base にファイリングされます。  
検査機器との通信は 1 回で終了となります。

※ID=オーダーにした場合、検査機器で ID を入力しても無効になりオーダーした ID が優先されます。

## 14. 詳細画面(個別データ)

検査情報

ファイル(F)

患者情報入力

患者ID 999 患者検索

氏名 山田 太郎

氏名カナ ヤマダ タロウ

性別  男  女

検査日 20160518 更新 RS\_Base

検査者 吉田

検査名 (1280) HbA1c

測定日時 2016/05/18 20:17:00 (f)

状況 20 (検査済)

詳細データ

<前 次> 送信

CD	検査名	基準値	基準値	検査値	単位	フラグ
<input type="checkbox"/> 1280030	HbA1c(NGSP)			5.5	%	

- ① 患者情報エリア … ID、氏名、カナ、性別、検査日、検査者が表示されます。修正を行う場合には該当する項目（患者ID～検査者）を入力後、更新ボタンで検査データの患者情報が更新されます。患者IDを入力後患者検索ボタンで既に患者IDがRS\_CommPro内にある場合には氏名～性別が表示されます。また、RS\_Baseボタンをクリックすると、表示された患者のRS\_Baseが起動します。

※検査日の修正は詳細画面でのみ可能です。更新された場合の状況は、（検査済み）に変わります。

- ② 検査機器、状況表示エリア … 検査機器、測定日時、状況が表示されます。状況の表示は「検査待」、「検査中」、「検査済」、「送信済」、「送信エラー」、「削除済」、「エラー」の7種類があります。

- 「検査待」、「検査中」→未使用
- 「検査済」→ 検査は終了したがRS\_Baseには未送信（機器設定の自動転送をしないに設定した場合にデータを受信、RS\_CommProに登録まで行いますので検査済みの表示となります）
- 「送信済」→ RS\_Baseに送信済み
- 「送信エラー」→ RS\_Baseに送信したがエラーになった場合にはメッセージが状況の下に赤字で表示されます（ID=0の場合やApacheが起動していない場合などの場合にエラーとなります）
- 「削除済」→ データの削除済み
- 「エラー」→ 検査データの受信でエラーが発生しています。

- ③ 明細表示エリア … 各検査項目の明細が表示されます。「<前」「次>」ボタンにて表示した検査日の前後を表示することができます。

## 15. 詳細画面(時系列表示)

同一機器で検査をした場合、時系列で表示することができます。

また、機器設定で自動転送を「しない」に設定した場合で、検査結果を確認後に個別に送信したい場合にも利用できます。

院内検査データ取込システム (RS\_CommPro)

患者情報入力

患者ID:  患者検索

氏名:

氏名カナ:

性別:  男  女  更新時患者情報に登録する  片耳のみ

通信状況

血管 (未接続) 手入力 (未接続) オージオ (未接続) 機器4 (未接続)

機器5 (未接続) 機器6 (未接続) 機器7 (未接続) 機器8 (未接続)

本日検査 前日検査 **1週間分** 測定情報検索 検査集計

1週間分の検査一覧です。  
 明細ダブルクリックで詳細画面を表示します。

RS\_Base 送信 削除 印刷

検査番号	検査名	検査日	検律No	状況	患者番号	氏名
00002875	手入力	2016/05/23 14:55:55	000000	検査済	2	ひとり親 92(61)
00002874	手入力	2016/05/23 14:28:55	000000	○送信済	1	佐藤 太郎(59)
00002873	手入力	2016/05/23 14:28:55	000000	○送信済	999	山田 太郎
00002872	健診	2016/05/19 00:00:00	000000	検査済	999	山田 太郎
00002871	特定健診	2016/05/19 00:00:00	000000	検査済	999	山田 太郎
00002870	手入力	2016/05/19 11:00:54	000000	○送信済	999	山田 太郎
00000275	Hand	2017.00		検査済	999	山田 太郎

1週間分 (7件表示) 2016/05/23 15:21

検査情報

患者情報

患者ID:

氏名:

氏名カナ:

性別:  男  女

出力情報

検査日	検査名	検査値
<input checked="" type="checkbox"/> 2016/04/02	WBC	62
<input checked="" type="checkbox"/> 2016/01/04	LY%	23.3
<input checked="" type="checkbox"/> 2016/04/02	MO%	10.2

送信

時系列データ

	2016/04/02	2016/01/04	2015/12/10	2015/11/26
WBC	62	63	56	54
LY%	37.3	23.3	21.7	26.0
MO%	10.2	13.5	19.9	8.5
NE%	51.6	61.6	57.0	64.1
EO%	0.8	1.5	2.0	1.3
BA%	0.1	0.1	0.1	0.1
LY	23	15	12	14
MO	6	9	11	5
NE	33	38	32	34
EO		1	1	1
BA				
RBC	458	472	449	414
HGB	13.7	13.1	13.7	13.0

① 該当の明細をクリックして青反転させ右クリックをして、時系列表示を選択して下さい。検査情報が表示されます。

② 時系列データ欄より送信したいデータをダブルクリックすると、出力情報欄にデータが表示されます。

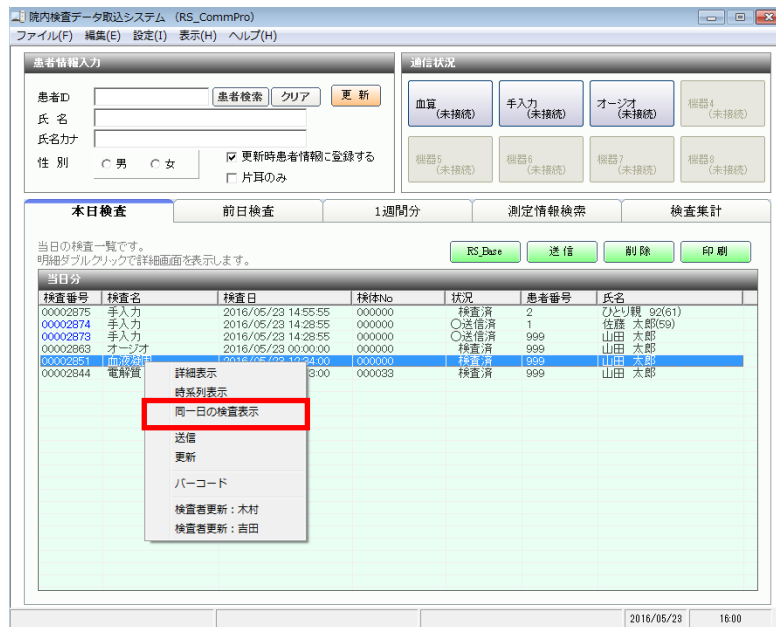
③ RS\_Baseに送信する場合は、送信ボタンをクリックして下さい。

(※)送信したくないデータを選択している場合は、出力情報の該当する検査の☑をはずしてから送信ボタンをクリックして下さい。

## 16. 詳細画面(同一日の検査表示)

同一患者で、同一日に検査をした結果を表示することができます。

また、機器設定で自動転送を「しない」に設定した場合で、検査結果を確認後に個別に送信したい場合にも利用できます。



- ① 該当の明細をクリックして青反転させ右クリックをして、同一日の検査表示を選択して下さい。検査情報が表示されます。



- ② 表示したくない検査がある場合は、検査日欄の該当する検査の☑をはずし、再表示をするとチェックをはずした検査以外のものが詳細データに再表示されます。

患者情報入力

患者ID: 999 (患者検索)

氏名: 山田 太郎

氏名カナ: ヤマガタ 知ウ

性別:  男  女 (更新) (RS\_Base)

検査日: 2016/05/23 (4件) (再表示)

検査番号	検査機器
<input checked="" type="checkbox"/> 00002863	(1870) オージオ
<input type="checkbox"/> 00002851	(1650) 血液凝固
<input checked="" type="checkbox"/> 00002873	(9998) 手入力
<input checked="" type="checkbox"/> 00002844	(1570) 電解質

詳細データ

<前 (次> (送信)

検査番号	検査名	基準値	基準値	検査値	単位	フラグ
<input type="checkbox"/> 00002863-1800230	Leve500			50	dB	
<input type="checkbox"/> 00002851-1650010	PT	H		1234.5	sec	上下限管:
<input type="checkbox"/> 00002851-1650020	PT%	L		6789.0	%	レポートリ
<input type="checkbox"/> 00002851-1650080	HpT			1478.5	%	測定エラー
<input type="checkbox"/> 00002851-1650090	因子定量II			456.0	%	希釈倍率:
<input type="checkbox"/> 00002851-150	150			78542		
<input type="checkbox"/> 00002851-1650220	DD			7843.5	ug/mL	
<input type="checkbox"/> 00002851-1650030	PT比			124.56		
<input type="checkbox"/> 00002873-9998010	Na			111		
<input type="checkbox"/> 00002873-9998020	K			222		
<input type="checkbox"/> 00002873-9998030	Cl			333		
<input type="checkbox"/> 00002873-9998040	RA			444		
<input type="checkbox"/> 00002873-9998050	ヘパラスチン			555		
<input type="checkbox"/> 00002873-9998060	血中アンモニア			666		
<input type="checkbox"/> 00002873-9998070	HbA1c			777		
<input type="checkbox"/> 00002844-1570010	Na	H		>160.0	mmol/L	
<input type="checkbox"/> 00002844-1570020	K			4.37	mmol/L	

- ③ RS\_Base に送信する場合は、詳細データ欄に表示されている検査に☑を入れ送信ボタンをクリックして下さい。

患者情報入力

患者ID: 999 (患者検索)

氏名: 山田 太郎

氏名カナ: ヤマガタ 知ウ

性別:  男  女 (更新) (RS\_Base)

検査日: 2016/05/23 (3件) (再表示)

検査番号	検査機器
<input checked="" type="checkbox"/> 00002863	(1870) オージオ
<input type="checkbox"/> 00002851	(1650) 血液凝固
<input checked="" type="checkbox"/> 00002873	(9998) 手入力
<input checked="" type="checkbox"/> 00002844	(1570) 電解質

詳細データ

<前 (次> (送信)

検査番号	検査名	基準値	基準値	検査値	単位	フラグ
<input type="checkbox"/> 00002863-1800230	Leve500			50	dB	
<input type="checkbox"/> 00002873-9998010	Na			111		
<input type="checkbox"/> 00002873-9998020	K			222		
<input type="checkbox"/> 00002873-9998030	Cl			333		
<input type="checkbox"/> 00002873-9998040	RA			444		
<input type="checkbox"/> 00002873-9998050	ヘパラスチン			555		
<input type="checkbox"/> 00002873-9998060	血中アンモニア			666		
<input type="checkbox"/> 00002873-9998070	HbA1c			777		
<input type="checkbox"/> 00002844-1570010	Na	H		>160.0	mmol/L	
<input type="checkbox"/> 00002844-1570020	K			4.37	mmol/L	

## 17. 対応機器一覧

1. メイン画面の表示(H)→対応機器一覧(T)にてご利用の対応機器を検索できます。
2. 初期設定(機器設定)でご利用の機器が見つからない場合などにご利用下さい。



- ① 表示画面から機器名称へ検索したい機器を入力し、検索ボタンをクリックして下さい。
- ② 対象の機器をクリックして青反転させます。
- ③ 機器資料ボタンをクリックすると検査機器個別の設定マニュアルが表示されます。

## 18. 患者一覧

1. メイン画面の表示(H)→患者一覧(K)にて過去に検査した患者を検索できます。

患者一覧

ファイル(F)

検索情報入力

患者ID 10 検索

氏名

氏名カナ

← 最初 < 前頁 次頁 > 最後 >

患者一覧

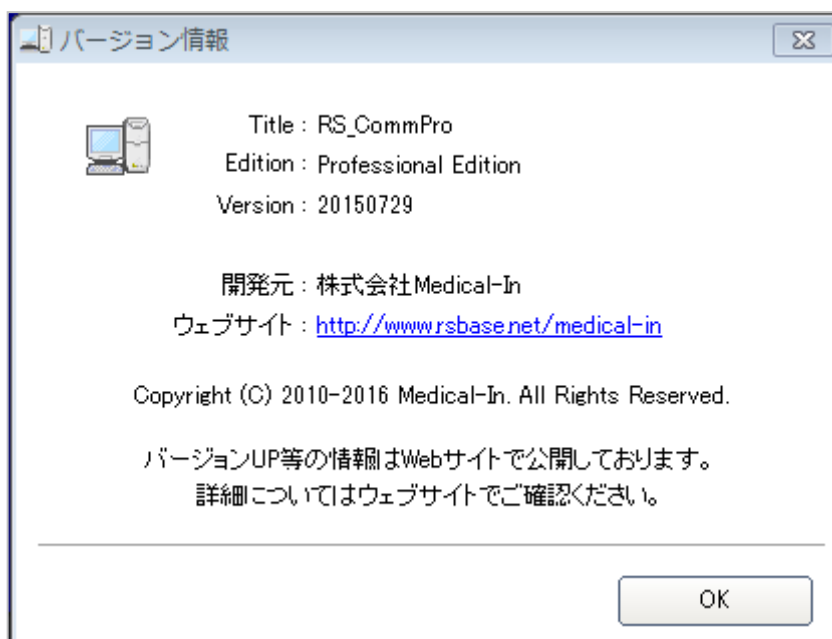
1 件抽出 削除

患者ID	氏名	氏名カナ	生年月日	性別
10	原田花子	ハラダハナコ		女性

- ① 表示画面から検査情報入力へ検索したい項目（患者 ID、氏名、氏名カナ）のいずれかを入力し、検索ボタンをクリックして下さい。

## 17. バージョン情報

1. RS\_CommPro のメイン画面のヘルプ(H)→バージョン情報(A)にて表示されます。



① バージョン情報が表示されます。

② OK ボタンにて画面を閉じます。

【バージョン表記について】

RS\_CommPro のバージョン表示は RS\_Base と同様に西暦年月日で行います。

例) 2015(平成 27 年)年 7 月 29 日のバージョンの場合には Ver20150729 と表示されます。

## 19. 患者情報の取得

1. RS\_CommPro では RS\_Base から自動で患者情報を取得します。

- ① プログラム起動時に RS\_Base の患者情報を全件取得
- ② RS\_Base に新たに登録された患者情報を差分にて取得します。RS\_Base ver120201 にて対応していただいた差分ファイルを利用し取得しています。また、受付データがある場合は、受付ファイルを利用し取得しています。

差分ファイル : RS\_Base のサーバドライブ:¥users¥rsn¥public\_html¥data¥new\_name.csv

受付ファイル : RS\_Base のサーバドライブ:¥users¥rsn¥public\_html¥data¥uke.csv

(※) この機能は RS\_Base のバージョンが Ver20120201 以降の場合に有効です。

## 20. その他

### 【取扱機器】

RS\_CommPro では 2017 年 7 月現在約 200 機種に対応を行っております。RS\_Comm では対応していますが、RS\_CommPro では未対応の機器も多く含まれております。今後、ご要望を受けながら対応機器を増やしていく予定です。

### 【11 機種以上の対応について】

ご利用機器が 11 機種以上の場合、現在の RS\_CommPro では対応が出来ておりません。また今回から同一プログラムの 2 重起動のチェックも行っており、同時に 2 つ起動が出来ません。11 機種以上の機器と接続の場合には別途パソコンを分けてそれぞれに RS\_CommPro をインストールしてご利用下さい。

### 【RS\_Base 以外の電子カルテ、ファイリングシステムへの送信】

RS\_Comm では RS\_Base のみにデータを送信ファイリングしておりましたが、RS\_CommPro からは RS\_Base 以外の電子カルテ等にもデータを受け渡す(送信)ことが可能です。

今まで対応した内容は

- ・血液データを RS\_Base と電子カルテにファイリング
- ・血液データを電子カルテにファイリング
- ・血圧、身長体重をダイナミクスの身長体重、血圧エリアにファイリング
- ・検査システムと連動し電子カルテにファイリング

などを行っております。

ご希望の場合には別途弊社までご連絡下さい。

(※) RS\_Base 以外の電子カルテへの送信は別途ライセンスが必要となり有料です。

(※) 電子カルテへのファイリングは電子カルテ側の仕様になり自動手動等様々ですので各メーカー様にお問い合わせ下さい。